

部外秘

企画 53 - 3

昭和 53 年度 第 1 ・ 四 半 期

事 業 進 捗 状 況 表

昭和 53 年 7 月

企 画 部

JICA
L000
36
PLP
LIBRARY

国際協力事業団	
受入 月日 84.5.24	L000
	36
登録No. 07627	PLP

目 次

1. 研修員の受入	1頁
2. 専門家の派遣	4
3. 機材の供与	11
4. 調査団の派遣	16
5. 社会開発協力事業	28
6. 保健医療協力事業	39
7. 農林業開発協力事業	60
8. 鉱工業開発協力事業	85
9. 青年海外協力隊事業	93
10. 人材養成確保事業	96
11. 開発協力事業	99
12. 移住事業	104
13. 無償資金協力事業	116

本資料は、事業の計画的効率的執行をほかることを目的とし、各部門の連絡を緊密化するための資料として作成したもので、各事業の計画概要と53年度第1四半期事業の進捗状況を取りまとめたものである。

なお、実績は全て昭和53年4月1日より昭和53年6月30日まで事業計画は昭和53年4月1日より昭和54年3月31日までの数字である。

JICA LIBRARY



1018668[2]

1. 研修員の受入

(1) 受入総数

(単位 人)

	年間計画数		前年度からの 継続者	今四半期末の 当年度受入人数	計
	継続	新規			
集 団	140	1,642	142	486	628
個 別	15	159	45	57	102
特 設	100	245	102	8	116
カウンターパート	95	404	140	90	330
国連 G O	5	150	6	61	67
合 計	355	2,600	441	702	1,143

(2) 国別受入実績

(単位 人)

	年間 計画数	%四半期 実績	内 訳			年間 計画数	%四半期 実績	内 訳			
			個 別	集 団	継 続			個 別	集 団	継 続	
アシア地域	1,475	560									
インド	55	12	0	11	8	スリランカ	22	37	2	22	7
インドネシア	232	103	23	47	33	マニコーラ	4	0	0	0	0
大韓民国	146	51	14	6	51	モルディブ	4	0	0	0	0
ラオス	6	0	0	0	0	ブルネイ	1	0	0	0	0
マレーシア	123	44	2	30	12	ビルマ	90	34	0	21	13
ネパール	60	24	4	14	6	バングラデシュ	92	44	9	26	9
バマスタン	74	22	0	13	9	ブータン	8	1	0	1	0
フィリピン	190	76	11	40	25	香 港	-	1	0	1	0
シンガポール	83	29	2	22	5						

(単位人)

	年 間 計画数	半/四半期 実 績	内 訳			年 間 計画数	半/四半期 実 績	内 訳			
			個 別	集 団	継 続			個 別	集 団	継 続	
<u>中近東地域</u>	<u>527</u>	<u>161</u>				<u>アフリカ地域</u>	<u>248</u>	<u>77</u>			
アフガニスタン	57	17	0	10	7	中央アフリカ	1	0	0	0	0
アルジェリア	9	4	0	2	2	ダホメ	-	0	0	0	0
アラブ首長国連邦	13	1	0	1	0	エチオピア	18	0	0	0	0
バハレーン	1	0	0	0	0	ガボン	1	1	0	1	0
エジプト	83	32	5	15	12	上ボルタ	3	3	2	1	0
イラン	88	26	0	18	8	ガンビア	-	1	0	1	0
イラク	73	31	6	13	12	ガーナ	26	9	7	2	0
ジョルダン	14	3	0	2	1	象牙海岸	7	2	0	2	0
クウェート	16	4	0	3	1	ケニア	34	13	2	6	5
リビア	14	2	0	1	1	マダガスカル	13	3	0	0	3
モロッコ	8	1	0	1	0	マラウイ	5	1	0	1	0
オーマン	3	0	0	0	0	マリ	4	1	1	0	0
カタール	5	0	0	0	0	ナイジェリア	27	8	0	5	9
サウジアラビア	44	11	3	3	5	セネガル	3	2	1	1	0
スーダン	24	4	0	3	1	シエラレオネ	2	0	0	0	0
シリア	16	1	0	1	0	ソマリア	1	0	0	0	0
キルギスタ	6	3	3	0	0	タンザニア	39	11	1	4	6
南イエメン	3	0	0	0	0	ウガンダ	18	7	1	5	1
北イエメン	3	0	0	0	0	ザンビア	18	5	0	0	5
トルコ	47	21	6	11	4	ザンビア	10	2	0	0	2
						モリタニア	2	0	0	0	0

	年間 計画数	対1/4半期 実績	内 訳				年間 計画数	対1/4半期 実績	内 訳		
			個 別	集 団	継 続				個 別	集 団	継 続
スワジランド	1	1	0	1	0	ニカラグア	11	5	0	2	1
ギニア	2	0	0	0	0	パナマ	13	2	0	2	0
リベリア	10	4	0	2	2	パラグアイ	28	5	1	4	4
ルワンダ	5	5	0	0	5	ペルー	65	21	5	7	11
ボツワナ	1	0	0	0	0	トリニダードトバゴ	5	1	0	1	0
カメルーン	1	0	0	0	0	ウルグアイ	12	1	0	0	1
						ベネズエラ	16	6	5	1	2
						ハイチ	1	0	0	0	0
						バルバドス	2	1	0	0	1
						グレナダ	1	0	0	0	0
						エルサルバドル	20	4	0	1	3
<u>中南米地域</u>	<u>673</u>	<u>249</u>				<u>オセアニア地域</u>	<u>53</u>	<u>23</u>			
アルゼンチン	51	11	3	2	6	フィジー	5	1	0	0	1
ボリビア	57	16	1	5	10	ナウル	2	0	0	0	0
ブラジル	102	31	4	13	14	パプアニューギニア	16	13	2	7	4
チリ	30	6	3	0	3	トンガ	5	2	0	2	0
コロンビア	24	8	1	6	1	西サモア	5	2	0	2	0
コスタリカ	15	7	1	3	3	ソロモン諸島	0	2	2	0	0
キューバ	7	1	0	1	0	バングラデシュ	0	1	0	0	1
ドミニカ	9	3	1	1	1	ギバト	0	2	2	0	0
エアドル	16	6	0	2	4						
グアテマラ	22	10	3	2	5	<u>その他地域</u>	<u>4</u>	<u>6</u>	0	0	6
ガイアナ	6	0	0	0	0						
ホンジュラス	13	6	4	2	0	国連中 (150)	67	61	0	0	6
ジャマイカ	4	0	0	0	0						
メキシコ	122	96	1	4	91	合 計	2,956	1,143	216	486	441

2. 専門家派遣

(1) 派遣状況一覧

(単位 人)

地 域 名	(a) 前年度よりの 総 統 者		(b) 6月末までの 当年度派遣者累計		(a) → (b) 小 計		(c) 6月末までの 当年度派遣者累計		(a) + (b) - (c) 6月末現在 在 任 者 数		7月以降派遣予定数	
	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト	個 別	プロジェクト
ア ジ ア 地 域	124	135	31	62	155	197	25	39	130	158	141	214
	259		93		352		64		288		355	
中 近 東 地 域	52	24	21	17	73	41	17	7	56	34	78	58
	76		38		114		24		90		136	
ア フ リ カ 地 域	44	17	29	14	73	31	23	4	50	27	63	25
	61		43		104		27		77		88	
中 南 米 地 域	105	56	34	17	139	73	35	11	106	62	71	73
	161		51		212		44		168		144	
オセアニア地域	13	7	0	0	13	7	0	0	13	7	2	0
	20		0		20		0		20		2	
その他の地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0		0		0		0		0		0	
国 際 機 関	48	0	10	0	58	0	8	0	50	0	42	0
	48		10		58		8		50		42	
合 計	586	237	125	110	511	349	106	61	405	288	377	370
	625		235		860		167		693		767	

専門家の派遣

(2) 国別派遣実績

(単位 人)

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	半/四半期 実績	内 訳		年間 計画数	半/四半期 実績	内 訳	
			新規	継続			新規	継続
アジア北域	357	155	31	124	411	197	62	134
インド	3	1	-	1	-	-	-	-
インドネシア	118	57	7	50	113	45	11	54
大韓民国	27	3	1	2	27	14	12	2
ラオス	8	4	-	4	-	-	-	-
マレーシア	27	16	4	12	25	17	4	13
ネパール	10	3	1	2	24	12	6	12
パキスタン	13	8	-	8	8	-	-	-
フィリピン	43	20	5	15	73	36	9	27
シンガポール	17	8	1	7	1	-	-	-
スリランカ	7	1	-	1	10	7	4	4
タイ	61	28	10	18	81	42	12	30
モンゴール	-	-	-	-	-	-	-	-
モルディブ	7	2	-	2	-	-	-	-
ブルネイ	-	-	-	-	-	-	-	-
ビルマ	7	1	-	1	17	4	4	-
バングラデシュ	6	-	-	-	22	14	-	14
ブータン	1	1	-	1	-	-	-	-

	個 別 専 門 家				プ ロ ジ ェ ク ト 専 門 家			
	年 間 計 画 数	初 四 半 期 実 績	内 訳		年 間 計 画 数	初 四 半 期 実 績	内 訳	
			新 規	継 続			新 規	継 続
中 近 東 地 域	134	73	21	52	88	41	17	24
アフガニスタン	16	9	-	9	22	14	10	4
アルジェリア	4	1	-	1	8	4	4	-
アラブ首長国連邦	8	7	2	5	-	-	-	-
バハレーン	-	-	-	-	-	-	-	-
エジプト	12	14	6	8	22	14	-	14
イラン	24	16	7	9	13	-	-	-
イラク	12	3	-	3	-	-	-	-
シヨルダン	-	-	-	-	-	-	-	-
クウェート	5	2	1	1	-	-	-	-
リビア	2	-	-	-	-	-	-	-
モロッコ	1	-	-	-	-	-	-	-
オーマン	-	-	-	-	-	-	-	-
カタール	4	-	-	-	-	-	-	-
サウジアラビア	13	10	4	6	5	-	-	-
スーダン	6	-	1	1	-	-	-	-
シリア	10	3	1	3	-	-	-	-
チヨニシア	2	1	1	1	10	1	1	-
南イエメン	-	-	-	-	-	-	-	-
北イエメン	-	-	-	-	-	-	-	-

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	半/四半期 実績	内 容		年間 計画数	半/四半期 実績	内 容	
			新規	継続			新規	継続
トルコ	9	7	1	6	8	8	2	6
アフリカ地域	127	113	27	44	56	31	14	17
中央アフリカ	-	-	-	-	-	-	-	-
ダホメ	-	-	-	-	-	-	-	-
エチオピア	3	2	-	2	-	-	-	-
ガボン	-	-	-	-	-	-	-	-
上ホルダ	3	-	-	-	-	-	-	-
ガーナ	5	1	-	1	26	18	10	8
象牙海岸	-	-	-	-	-	-	-	-
ケニア	19	11	1	10	8	6	2	4
マダガスカル	-	-	-	-	4	3	-	3
マラウイ	6	3	1	2	-	-	-	-
マリ	4	-	-	-	-	-	-	-
ナイジェリア	5	5	4	1	9	2	2	-
セネガル	5	2	2	-	-	-	-	-
シエラレオネ	-	-	-	-	-	-	-	-
ソマリア	9	-	-	-	-	-	-	-
ガンビア	1	-	-	-	-	-	-	-
ニジェール	1	2	2	-	-	-	-	-

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	半/四半期 実績	内訳		年間 計画数	半/四半期 実績	内訳	
			新規	継続			新規	継続
ボツワナ	-	3	3	-	-	-	-	-
タンザニア	12	15	7	8	8	2	-	2
ウガンダ	10	3	1	2	-	-	-	-
ザイール	26	15	3	12	-	-	-	-
ザンビア	1	-	-	-	-	-	-	-
モーリシヤス	-	-	-	-	-	-	-	-
トゴ	-	-	-	-	-	-	-	-
ギニア	-	-	-	-	-	-	-	-
リベリア	7	7	5	2	-	-	-	-
ルワンダ	5	1	-	1	-	-	-	-
スワジランド	4	3	-	3	-	-	-	-
モリタニア	1	-	-	-	-	-	-	-
中南米地域	125	137	34	105	126	73	17	56
アルゼンチン	7	1	-	1	6	2	-	2
ボリビア	18	16	5	11	17	8	3	6
ブラジル	36	20	5	15	31	18	2	16
チリ	10	8	1	8	16	10	-	10
コロンビア	8	11	8	2	-	-	-	-
エクアドル	6	4	1	3	8	3	2	1

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	沖ノ四半期 実績	内 訳		年間 計画数	沖ノ四半期 実績	内 訳	
			新規	継続			新規	継続
キューバ	-	-	-	-	-	-	-	-
ドミニカ	2	-	-	-	-	-	-	-
エクアドル	3	2	1	3	8	4	4	-
グアテマラ	6	5	2	3	16	8	1	8
ガイアナ	1	-	-	-	-	-	-	-
ホンジュラス	6	2	-	2	-	-	-	-
ジャマイカ	-	-	-	-	-	-	-	-
メキシコ	20	20	4	16	-	-	-	-
ニカラグナ	4	4	-	4	-	-	-	-
パナマ	3	1	-	1	-	-	-	-
パラグアイ	7	7	2	5	19	4	3	1
ペルー	21	16	3	13	18	14	2	12
トリニダードトバゴ	2	2	-	2	-	-	-	-
ウルグアイ	3	3	2	1	8	-	-	-
ベネズエラ	10	5	-	5	1	-	-	-
ハイチ	-	-	-	-	-	-	-	-
バルバドス	2	-	-	-	-	-	-	-
グレナダ	2	-	-	-	-	-	-	-
エルサルバドル	7	4	-	4	-	-	-	-
マリナム	8	6	-	6	-	-	-	-

	個別専門家				プロジェクト専門家			
	年間 計画数	初年度 実績	内 訳		年間 計画数	初年度 実績	内 訳	
			新規	継続			新規	継続
オセアニア地域	21	13	0	13	7	7	-	7
フィジー	10	-	-	6	-	-	-	-
ナウル	-	-	-	-	-	-	-	-
バブアニューギニア	3	-	-	2	-	-	-	-
トニガ	3	-	-	2	-	-	-	-
西サモア	5	-	-	3	-	-	-	-
ミクロネシア	-	-	-	-	7	7	-	7
その他	3	0	0	0	-	-	-	-
国際機関	106	58	10	48	-	-	-	-
合 計	245	111	125	386	719	347	110	239

3. 機材の供与

実施済のものに()にて示してある。

国名	事項名	担当部名	実施計画額	実施計画 -協賛時期	贈送請求 提出時期	船積 実施時期	国名	事項名	担当部名	実施計画額	実施計画 協賛時期	贈送請求 提出時期	船積 実施時期
			(円)	(H)	(R)	(H)				(円)	(H)	(H)	(R)
アジア							南スラバヤ農業協会の計画	農	29,000	(53.5)	53.8	53.12	
	パンダラテシユ		224,000				農 会	・	52,000	(53.5)	53.8	54.1	
	チリビ開墾機材	研	40,000	53.7	53.8	54.2	ホゴール大学	・	51,000	(53.5)	53.8	54.2	
	気候計画	医	25,000	(53.6)	53.7	53.10	農業研究	・	51,000	(53.5)	53.8	54.1	
	・	・	39,000	53.7	53.8	53.12	ラハシ農業開発	・	67,000	(53.5)	53.8	53.11	
	農業普及	農	67,000	(53.5)	53.7	54.3	山岳林収穫技術	・	98,000	(53.4)	(53.5)	① 53.8 ② 53.10	
	園芸研究	・	51,000	(53.5)	53.8	54.2	中堅技術者育成	・	29,000	未定	未定	-	
	ビルマ		305,000				信 国		121,000				
	橋梁技術用取付センサー	社	110,000	-	-	-	工学研究所機材	派	20,000	53.7	53.10	54.2	
	系脱着吹用機材	研	15,000	53.7	53.8	53.12	中央気候観測所機材	医	50,000	(53.5)	(53.6)	53.10	
	アラカン林業用機	農	100,000	(53.4)	(53.5)	53.10	農業研究	農	51,000	53.7	53.8	54.1	
	首鹿開発	・	20,000	(53.6)	(53.6)	② 53.8 ③ 53.11	マレーシア		136,000				
	インドネシア		656,644				NARAシボホールバル 麻薬訓練技	社	48,000	(53.5)	(53.6)	53.12	
	かんがい計画用機材	派	10,000	53.7	53.8	53.12	FIDAXセンサー	派	10,000	53.7	53.10	53.11	
	動物研究用機材	研	20,000	(53.5)	53.8	54.1	稲作研究用機材	研	20,000	(53.5)	53.7	53.12	
	中央生物医学研究所	医	30,000	(53.5)	(53.6)	53.10	水 管 理	農	53,000	53.8	53.8	54.1	
	家族計画	・	21,720	(53.5)	(53.6)		本バール		116,000				
	・	・	39,000	53.7	53.8		シマナカブール	農	66,000	53.7	53.8	53.1	
	北スマララ地政保護対策	・	23,724	(53.6)	53.7	53.11	西脚地政公衆衛生対策	医	40,000	(53.6)	53.7	53.10	
	・	・	40,000	(53.6)	53.7	53.11	地質調査用機材	派	10,000	53.7	53.8	54.1	
	看 護	・	30,000	-	-	-	パキスタン		30,000				
	家畜衛生	農	52,000	(53.5)	53.10	53.11	電気通信機材	研	30,000	53.7	53.8	54.3	

研：研究系部 派：派遣系部 社：社会関係系部 農：農林関係系部 医：医学関係系部

国名	事業名	担当部名	実施計画額	実施計画協議時期	派遣請求者提出時期	船債引当実施時期	国名	事業名	担当部名	実施計画額	実施計画協議時期	派遣請求者提出時期	船債引当実施時期
	フィリピン		702,000 (14)	(11)	(11)	(11)				15,000 (11)	(11)	(11)	(11)
	道路交通訓練センター	社	240,000	(53.4)	(53.5)		パナマ保健省婦科ユニバ	医		27,724	(53.6)	53.7	53.11
	農業研究開発センター	鉾	70,000	(53.6)	53.7	53.11	地域保健活動向上計画			20,000	(53.6)	53.7	53.10
	道路区画線用機材	派	15,000	(53.5)	(53.6)	53.10	看護			30,000	-	-	-
	家族計画	医	30,000	53.7	53.8		家族計画			40,000	53.7	53.8	53.11
			51,000	53.7	53.8		家畜衛生	農		30,000	(53.5)	53.7	53.11
	生虫吸虫症研究対策		20,000	(53.5)	(53.6)		おかい農業開発			153,000	(53.5)	(53.5)	53.10
	カガヤン農業開発	農	66,000	(53.5)	53.7	53.12	えび養殖			15,000	(53.5)	53.7	53.11
	パナマパガン森林造成		117,000	(53.4)	(53.5)	53.12	養蚕			15,000	53.7	53.7	53.10
	パーティクルボート開発	鉾	100,000	53.4)	(53.5)	53.7	中堅技術者				-	-	-
	シンガポール		258,000				どうもろこし			78,000	(53.4)	53.7	
	日台合同訓練センター	社	250,000	済	53.8	54.1	天然ゴム	鉾		27,000	(53.6)	53.7	53.12
	船舶機用機材	派	2,000	53.7	53.8	53.12	ツェットム			30,000			
	スリランカ		40,000				復興関係機材	研		50,000	53.7	53.7	54.2
	高等水産講習所	農	50,000	53.7	53.8	53.12							
	職業訓練用機材	研	10,000	(53.5)	53.7	53.11	下近東						
	タイ		694,728				77ガ=スタン			77,923			
	東北タイ職業訓練センター	社	40,000	(53.4)	(53.5)		結核対策	医		50,000	(53.4)	(53.5)	53.10
	家具産業振興センター	鉾	10,000	(53.5)	(53.6)	54.2	稲作開発	農		27,923	53.10	53.12	54.2
	高産農業開発機材	派	20,000	(53.5)	53.7	53.12	アルジェリア			50,000			
	歯科治療用機材	研	3,000	(53.5)	53.7	53.7	オラン科学技術大学	医		50,000	(53.5)	(53.6)	53.12
	地域保健活動向上計画	医	50,000	(53.6)	53.7	53.10							
	家族計画	医	51,000	53.7	53.8	53.12							

国名	事項名	担当部名	実施計画額	実施計画 協賛時期	要望請求書 提出時期	償還 実施時期	国名	事項名	担当部名	実施計画額	実施計画 協賛時期	要望請求書 提出時期	償還 実施時期
			(円)	(月)	(月)	(月)				(円)	(月)	(月)	(月)
エジプト			215,000				カナダ			60,000			
	シヨプラ機械製作センター	社	40,000	(53.5)	(53.6)	53.7	カナダ大学医学部	医	60,000	(53.4)	(53.5)	54.1	
	アラブ海軍大学校	社	150,000	(53.5)	(53.6)		象牙海岸		10,000				
	看護教育研究	医	10,000	(53.4)	(53.5)	53.11	消化器検査機材	研	10,000	53.7	53.8	53.12	
	人革行政用機材	-	15,000	-	-	-	ケニア		30,000				
イラン			29,000				M.T.S. 上級技術訓練センター	社	20,000	53.8	53.9	53.12	
	産業衛生 伝送機	医	60,000	53.7	53.8	53.12	電気通信関係機材	-	10,000	-	-	-	
	サホーロ炭素研究	農	29,000	53.5	54.2	54.1	マダガスカル		70,000				
イラク			30,000				北部畜産開発	農	70,000	53.8	53.10	① 53.10 ② -	
	電気産業訓練	教	50,000	(53.5)	(53.6)	53.10	マラウイ		10,000				
ジャルダン			100,000				水産養殖研究用機材	派	10,000	53.7	53.8	54.2	
	王立科学院工学工業サービスセンター	社	100,000	(53.5)	(53.6)	53.6	ナイジェリア		30,000				
シリア			60,000				イフエ大学医学部	医	15,000	53.7	53.8	53.11	
	乳牛疾病対策機材	派	60,000	53.7	53.8	54.2	ナイジェリア大学		15,000	53.7	53.8	54.1	
チュニジア			80,000				クンザニア		88,000				
	国立漁業センター		30,000	(53.4)	(53.5)		結核対策	医	30,000	53.7	53.8		
	水産加工研究用機材	派	20,000	53.7	53.9	54.1	マリヤンシヤロ農業開発	農	58,000	53.7	53.11		
	薬品品質管理	医	40,000				サイール		20,000				
アフリカ							鉄道建設用機材	派	20,000	(53.5)	53.7	53.12	
	中央アフリカ		15,000										
	薬品管理	医	15,000	(53.5)	(53.5)	53.6							

国名	中 項 名	担当部名	実施計画額	実施計画協議時期	贈送請求書提出時期	船 積 み 実施時期	国名	中 項 名	担当部名	実施計画額	実施計画協議時期	贈送請求書提出時期	船 積 み 実施時期
			(千円)	(月)	(月)	(月)				(千円)	(月)	(月)	(月)
セネガル	漁業訓練用機材	-	20,000	-	-	-	コスタリカ大学医学部	医	20,000	(53.5)	53.7	54.1	
中南米	アルゼンチン		75,000				エフアトル		25,000				
	食物分析用機材	研	25,000	リザーブ案件	-	-	微生物病研究対策	医	25,000	(53.4)	(53.5)	53.11	
	健康管理システム強化	医	50,000	(53.5)	(53.6)	54.2	グレナダ		12,000				
	ホリコア		160,000				消防訓練用機材	派	12,000	(53.5)	53.7	54.1	
	食物検査用機材	派	15,000	(53.5)	53.7	53.12	グアテマラ		45,000				
	消化器病研究対策	医	25,000	(53.4)	(53.5)	53.12	オンコセルシ症研究対策	医	45,000	(53.6)	53.7	53.10	
	亜鉛回収	鉱	60,000	(53.5)	(53.6)	53.8	ホンチユラス		22,000				
	ブラジル		207,000				最高裁判所 ガスシロ他	-	10,000	-	-	-	
	ホルトアムリトクン成人病研究所	医	20,000	(53.6)	53.7	53.12	気象水分観測用機材	-	12,000	-	-	-	
	リバイラ農業開発	農	80,000	53.7	53.8	54.2	メキシコ		42,714				
	農業研究		102,000	53.7	53.10	54.3	肥化通商訓練用機材	研	42,714	53.7	53.8	54.3	
	鉱物資源	鉱	5,000	(53.6)	53.7		ニカラグア		15,000				
	チリ		80,000				国立自治大学 心電図他	医	15,000	(53.6)	53.7	53.11	
	早期胃癌対策	医	60,000	(53.4)	(53.5)	53.11	パラグアイ		96,000				
	銅製錬	鉱	10,000	(53.6)	53.7	53.11	職業訓練センター	社	70,000	53.7	53.8	53.12	
	電力開発調査機材	研	10,000	(53.5)	53.7	53.11	心臓病対策	医	20,000	(53.5)	(53.6)		
	コスタリカ		26,500				内視鏡		6,000	-	-	-	
	消化器検査機材	研	6,500	(53.5)	53.7	53.11	ヘル		55,000				
							水産加工センター		20,000	(53.6)	53.7		

国名 事 項 名	担当部名	実施計画額	実施計画 協議時期	贈送請求書 提出時期	船 費 実施時期	国 名 事 項 名	担当部名	実施計画額	実施計画 協議時期	贈送請求書 提出時期	船 費 実施時期
電気通商訓練用機材	派	25,000	53.7	53.8	54.3	そ の 他		143,541			
鉱山保安	鉱	10,000	(53.5)	53.6	53.7	I L O					
ウルグアイ		40,000				高等職訓練機材	派	70,000	53.5	53.7 53.8	54.1
野菜研究	農	120,000	53.8	53.9	54.1	そ の 他 (対馬中野村)		73,541			
コロンビア		15,000									
ウラン資源調査機材	-	15,000	-	-	-						
トミニカ		10,000									
消化器検査機材	-	10,000	-	-	-						
大洋州											
フイジー		6,000									
放送訓練用機材	派	6,000	53.5	53.7	53.12						
ミクロネシア		30,000									
漁業開発	農	30,000	53.10	53.12	54.3						
トンガ		5,000									
漁業訓練用機材	研	5,000	53.5	53.7	53.11						
西サモア		10,000									
漁業指導用機材	-	10,000	-	-	-						
合 計								5,573,050			

4. 調査田の状況

(1) 昭和53年度プロジェクト事業関係調査田派遣実績及び予定月別表 (*53年度予算)

(単位 件数)

事業別 月別	実 績			予 定									
	53年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	54年 1月	2月	3月	
1. 調査調査 (1) 準備調査 13件	・イバール 橋渡カダボ計画 ・フィ 衣前協同調査	・フィリピン マニラ山形防計画 ・インドネシア ジャバ島橋渡建設 ・アラビヤ 三州総合防計 ・エジプト 南西地帯総合防計	・シンガポール 海防計画 ・フィリピン 投資協力調査 ・フィリピン 地帯防計	・タイ、東南 交通調査 ・エジプト 鉄道 ・インドネシア 東部 シヤブ調査									
(2) 実施調査 22件	・タイマレーシア シカポール 海防計画 ・インドネシア 病院整備	・インドネシア スマタラマシ河 インフラ整備計画 ・インドネシア ジャバ島橋渡 ・タイ バタビヤ橋渡	・タイ マラカ海防 調査 ・インドネシア ジャバ島橋渡 調査	・インドネシア スマタラマシ河 防計画 ・マレーシア マラッカ海防 調査 ・ブタビヤ 調査 ・インドネシア スマタラマシ河 防計画	・フィリピン 北東部調査 ・インドネシア スマタラマシ河 防計画	・インドネシア スマタラマシ河 防計画 ・インドネシア スマタラマシ河 防計画							・マリ、地下水
(3) 長期調査 1件		・タイ 橋渡市街地 水道整備計画 ・インドネシア ジャバ島橋渡 ・マレーシア 海防計画	・インドネシア スマタラマシ河 防計画										
(4) 特別条件調査 双原プロジェクト 実施設計 9件		・スリランカ ・タイ ・ソロモン ・セー		・ベトナム 水産加工 ・インドネシア スマタラマシ河 防計画 ・タイ 橋渡市街地 水道整備計画	・インドネシア スマタラマシ河 防計画					・タイ バンコク			
(5) 地図作成調査 4件			・パナマ地帯 作成調査 ・フィリピン 地帯作成		・ギニア地帯 ・ケニア地帯								
(6) 森林調査 2件 2件	(X) フィリピン ボホール森林調査 (X) イラク 森林調査計画	・インドネシア スマタラマシ河 森林調査 ・スーダン ガババ地帯 森林調査											
(7) 水産資源調査 2件		・ガボン 水産資源調査 ・マルバト諸島 水産資源調査											
小 計 (新規53件) (繰越2件)	5件	18件	8件	14件	3件	5件	1件	1件	1件	1件	1件	1件	1件

注) 未定についてはこの表に載せていない。

月別 事業別	実 績			予 定								
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	54年7月	2月	3月	
2 技術協力:ター (1) 事前調査 7 件		(*)パル - 電気通信センター		(*)タイ モンクット王工 科大学	・ケニア ケニヤック大学 ・エジプト 欲維研究開発	・ヴェネズエラ 連渡オペレーター	(*)メキシコ 電信研修					・アフガニスタン 電信通信研修 センター
(2) 実施調査 6 件			・シンガポール E・シ訓練セ ンター	(*)パキスタン 電気通信セン ター	・マレーシア: 電気メッキセン ター		・パル - 電気通信セン ター					・タイ モンクット王工科 大学 ・ブランブル SEMAIL 訓練 センター
(3) 巡回指導 4 件				・フィリピン 実業センター	・マレーシア MARARA 産業訓 練 ・フィリピン 道路交通							・エジプト アラブ海運大学校 シハラ機械訓 練センター
(4) 計画打合せ 4 件		(*)サウジアラビア 王立リヤド電子 工学院		・スリランカ 高専水産講習所	(*)イラク 電気産業訓練 センター		・マレーシア 船舶機関士技 校					
(5) エバリアエーション 3 件							・インドネシア スラウェシ工業 振興センター					・クニア MYS 上級技 能訓練セン ター ・イラク 電気産業訓練セ ンター
(6) 器材修理 4 件					・インドネシア スラウェシ工業振 興センター ・韓国 大田産業訓練院		・ケニア MYS 上級技術 訓練センター	(*)トルコ 水産訓練技				
小 計 22件 (新規 22件 繰越 0件)	- 件	1 件	2 件	4 件	2 件	1 件	5 件	1 件	3 件	2 件	- 件	1 件

(単位 件数)

事業別 目別	予 定												
	53年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	54/1月	2月	3月	
保健 関係 (1) 事前調査 5件					・韓国 聖パウロ病院 循環器センター	・マレーシア 公衆衛生対策	・スリランカ ペラヂョアム2 教育病院	・パングラデシュ 公衆衛生対策 ・バブアニューギニア (X)公衆衛生					
(2) 実地調査 7件						・インドネシア 看護教育 ・ビルマ 生物医学研究所 (X)フィリピン公衆衛生 ・ケニア 国立公衆衛生研究所	・ソイ 看護教育					・韓国 聖パウロ病院 循環器センター ・東南アジア地区 公衆衛生対策	
(3) 巡回指導 4件					・ブラジル ホストアレグレ カトリック大学成人 病研究所	・ポリネシア 消化器病研究 対策	・フィリピン 家族計画 ・ソイ 家族計画						
(4) 計画打合せ 5件			(X)インドネシア 中央生物医学 研究所			・チリ 胃がん対策	・エフアドル 微生物病研 究	・ソイ 地域保健活 動向上計画	・パラグアイ 心臓病対策				
(5) 教材修理 4件				・ソイ(1) 家族計画他 ・ガーナ・ケニア(1) カーン大学医学 部他				・ソイ(1) 家族計画他 ・インドネシア シヤカルグン火葬 院他					
(6) エビデーション 2件								・アフガニスタン 結核対策		・グアタマラ オンコセルカ症 対策			
小 計 27件 (新規25件) 繰越 2件			1件	2件	2件	7件	5件	6件	1件	3件	0件	0件	

事業別 月別	夫			子					定			
	53年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	54年 1月	2月	3月
(1) 森林協力 事前調査 9件	(*) ブラジル サンパウル 研究			・ロウマ農林部 ・ブラジリアン ・コスタカ ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア	・インドネシア ・インドネシア			・インドネシア ・インドネシア	・インドネシア ・インドネシア			・タイ ・タイ
(2) 実地調査 9件	(*) ビルマ 高産調査			・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア	・インドネシア ・インドネシア		・ブラジル ・ブラジル	・ビルマ ・ビルマ				・インドネシア ・インドネシア
(3) 実地調査 3件		・インドネシア ・インドネシア			・インドネシア		・ビルマ ・ビルマ					
(4) 巡回指導 16件	・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア	・インドネシア ・インドネシア		・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア	・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア	・インドネシア ・インドネシア	・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア	・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア				・インドネシア ・インドネシア
(5) 計画打合せ 5件			(*) マレーシア 水管理		(*) バングラデシュ 農業普及	(*) バングラデシュ 園芸普及	・インドネシア ・インドネシア					・ビルマ 産産調査
(6) エバニューション 3件				・インドネシア ・インドネシア ・インドネシア								・インドネシア ・インドネシア
(7) 基礎調査 3件					・インドネシア ・インドネシア		・インドネシア ・インドネシア		・インドネシア ・インドネシア			
小計 48件 (打合せ44件 繰越4件)	4件	2件	1件	13件	7件	2件	7件	6件	1件	3件	2件	- 件

(単位:件数)

事業別 月別	実 績			予 定									
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	54年 1 月	2 月	3 月	
5. 開発協力 (1) 試験的事業 10 件		(*) インドネシア 南スマタラプナック 小作林造成 開発協力(2 件)	・ブラジル・アマゾン 現地実証基礎 二次調査		・マレーシア・サバ州 カオパル・開発協力 基礎二次調査 (*) ソマリランド 開発協力計画 調査(1,2,3次調査)	・ブラジル・アマゾン 現地実証計画打 合せ ・コチマラ 林業開 発協力基礎一次 調査	・エクアドル 農業開 発協力基礎二次調 査 ・アルゼンチン 野生 動物開発協力基礎 一次調査	・ベトナム ソンハイ ・ベトナム ソンハイ 開発協力基礎一次 調査 ・ホンジュラス 農業 開発協力調査計画 調査					
(2) 関連インフラ 4 件			(*) リベリア・ウ ロギン 鉄鉱石 所開発			・リベリア・ウロギン 鉄鉱石所開発(1 件)		・コロンビア 鉄 所開発		・ベトナム 銅山 所開発			
(3) 採掘権審査等 4 件					中南米 採掘権 審査等調査		フリビオン 採掘権 審査等調査		インドネシア 採 掘権審査等調 査				
小 計 17 件 新規 14 件 繰越 3 件	- 件	1 件	2 件	- 件	3 件	5 件	5 件	3 件	1 件	1 件	- 件	- 件	

(単位：件数)

事業別 月別	実 績			予 定									
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
6 産業界連携 街協力 "1" 事前調査 4 件						・パル 生野食品流 源改善 ・フィレン 組付直業育成			・オパール 中小企業 ・南西アジア プロファイ				
(2) 実施調査 1 件				インドネシア 取材									
(3) 実施設計調査 - 件													
(4) 巡回指導 4 件		(x) ボリビア 重鉛回収		(x) フイ とらむろコレ開 発		・チリ 銅製鉄開発					・フイ とらむろコレ 開発		
(5) 計画打合せ - 件													
小 計 7 件 (前取7件) 再査2件)		1 件		3 件	-	3 件	-	2 件		1 件	-	-	

(2) 派遣状況

(単位 件数)

国名	担当部 件数	企画部		社会福祉協力部		医療協力部		農林業関係三部		鉱工業関係二部		総計	
		年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績
アジア地域													
インド		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インドネシア		-	-	12	5	3	1	15	4	10	3	20	13
大韓民国		-	-	2	-	2	-	1	-	1	1	2	1
ラオス		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マレーシア		-	-	4	-	1	-	2	1	2	-	9	1
ネパール		-	-	1	1	-	-	2	1	1	-	4	2
パキスタン		-	-	2	-	-	-	1	-	1	1	4	1
フィリピン		2	-	5	2	2	2	3	2	4	5	20	9
シンガポール		-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	2	2
スリランカ		-	-	2	1	1	-	1	1	-	-	4	2
タイ		-	1	12	6	5	-	3	-	1	1	21	3
モンゴール		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
モルダ维亚		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ブルネイ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ビルマ		-	-	-	-	1	-	5	1	2	2	3	5
バンブラダシュ		-	-	-	-	1	-	3	1	1	-	5	1
ブータン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヴェトナム		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性別分類不能		-	2	4	4	-	-	5	-	1	-	10	6

国名	担当部 件数	企画部		社会福祉協力部		医療協力部		森林関係三部		鉱工業関係二部		総計	
		年 間 定	半 期 実 績	年 間 定	半 期 実 績	年 間 定	半 期 実 績	年 間 定	半 期 実 績	年 間 定	半 期 実 績	年 間 定	半 期 実 績
中近東地域													
アフガニスタン		-	-	/	-	/	-	/	-	-	-	3	-
アルジェリア		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アラブ首長国連邦		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バハレーン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エジプト		2	/	5	/	-	-	-	-	/	-	8	2
イラン		-	-	/	-	-	-	/	-	2	/	4	/
イラク		-	-	2	/	-	-	-	/	/	-	6	2
シヨルダン		2	/	-	-	-	-	-	-	-	-	2	/
プルーエート		-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-
リビア		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
モロッコ		-	-	-	-	-	-	-	-	4	/	4	/
オーマン		-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-
カタール		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サウジアラビア		-	-	/	/	-	-	-	-	/	-	2	/
スーダン		-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-
シリア		-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	-
チュニジア		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南イエメン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北イエメン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トルコ		-	-	/	-	-	-	-	-	3	/	4	/
国別分類不能		-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-

国名	担当部 件数	企画部		社会福祉協力部		医療協力部		森林業関係三部		鉱工業関係二部		総計	
		年子 固定	半/四半期 実績	年子 固定	半/四半期 実績	年子 固定	半/四半期 実績	年子 固定	半/四半期 実績	年子 固定	半/四半期 実績	年子 固定	半/四半期 実績
アフリカ地域													
中央アフリカ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ダホメ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エチオピア		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガボン		-	-	/	/	-	-	-	/	-	-	2	/
上ボルダ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カマナ		-	-	-	-	/	-	-	-	-	-	/	-
象牙海岸		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ケニア		-	-	5	-	/	-	-	/	-	-	7	-
マダガスカル		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マラウイ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マリ		-	-	/	-	-	-	-	-	-	-	/	-
ナイジェリア		-	-	/	-	-	-	-	/	-	-	2	-
セネガル		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シエラレオネ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ソマリア		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タンザニア		-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	/	/
ウガンダ		-	-	-	-	-	-	-	/	/	-	/	/
ガイール		-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	/	/
ザンビア		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
モリタニア		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トゴ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ギニア		-	-	/	-	-	-	-	-	-	-	/	-

国名	担当部 件数	企画部		社会開発協力部		医療協力部		農林業関係三部		鉱工業関係二部		派 遣	
		年 子	中 期 実 績	年 子	中 期 実 績	年 子	中 期 実 績	年 子	中 期 実 績	年 子	中 期 実 績	年 子	中 期 実 績
リベリア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-
ルワンダ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スワジランド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スーダン	-	-	/	/	-	-	-	-	/	-	-	/	2
モリタニア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中南米地域													
アルゼンチン	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	5	-
ベ ル -	-	-	3	/	-	-	/	-	-	-	-	4	/
コロンビア	/	-	/	/	/	-	-	-	3	/	-	6	2
ブラジル	-	-	3	/	/	-	-	7	2	5	-	14	3
チ リ	-	-	-	-	/	-	-	/	-	2	-	4	-
グアテマラ	-	-	-	-	/	-	-	/	-	-	-	2	-
フロレンシア	-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/
コスタリカ	-	-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	-
エクアドル	-	-	-	-	/	-	-	-	-	-	-	/	-
キューバ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ドミニカ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パナマ	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	/	/
パラグアイ	-	-	-	-	/	-	-	2	-	-	-	6	-
ホンジュラス	-	-	/	-	-	-	/	-	-	-	-	/	-
ジュネズエラ	-	-	/	-	-	-	-	-	-	-	-	/	-
ウルグアイ	-	-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	-
国別合計不能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-

担当部 件 数 国名	企画部		社会開発協力部		医療協力部		農林業関係三部		鉱工業関係二部		総計	
	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績	年 子 間 定	半 期 実 績
オセアニア地域												
ミルバート諸島	-	-	/	/	-	-	/	/	-	-	2	2
フィジー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ナウル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パプアニューギニア	-	-	-	-	/	-	-	-	-	-	/	-
ソロモン	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	/	/
トンガ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西サモア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ミクロネシア	-	-	-	-	-	-	/	-	-	-	/	-
その他												
ルーマニア他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
未定	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
合計	2	5	31	34	26	1	63	18	62	18	241	75

5. 社会開発協力事業

主管課(室) 海外センター課

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分 時 等													
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
[ビルマ] ビルマ橋梁技術訓練センター ① 協定期間(延長) ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 建設公社 ④ 協力概要(第2年次) ビルマ国内にて調査可能なセメントを用いたコンクリート橋に関する建設技術者を養成するものであり、53年度は、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 (再) 専門家派遣 長期 短期 機材(4月) 当初計画 繰越分(---) 新規分(---) 研修員受入 高級(準高級) 一般 5名																										
		実施協議 5名																									
専門家派遣状況(短・長期)																											
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現上々任者数 (A)+(B)+(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>																			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現上々任者数 (A)+(B)+(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現上々任者数 (A)+(B)+(C)																							
人数	0	0	0	0																							
[インドネシア] インドネシアスラウェシ工業技術訓練センター ① 協定期間(延長) 49.7.1 ~ 54.3.31 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 労働移住及び協賛組合 ④ 協力概要(第5年次) 南スラウェシ州の工業化に必要と技術者を養成を目的とし、(1)機械(2)钣金溶接(3)自動車整備(4)電気(5)ラジオテレビ修理(6)木工(7)建築の指導員への助言等の技術指導を行う。53年度は、専門家派遣、エバリュエーション機材修理両チーム派遣、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 9名 短期 機材(4月) 当初計画 繰越分(---) 新規分(---) 研修員受入 高級(準高級) 一般 8名																										
		エバリュエーション 機材修理																									
専門家派遣状況(短・長期)																											
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現上々任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> </table>																			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現上々任者数 (A)+(B)-(C)	人数	9	0	0	9
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現上々任者数 (A)+(B)-(C)																							
人数	9	0	0	9																							

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
【マレーシア】 マレーシア船舶技術士養成計画 ① 協定期間(延長) 42.12.3 ~ 52.12.2(延長) ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 文印紙 ④ 協力概要(第2年次) マレーシア国の船舶技術士養成の目的とし、 シラ・ワ・オマールポリテクニク船舶機関工学、船舶工学の技術指導を行う。53年度は計画打合せの派遣、専門家派遣、カウンターパート受入(を行う)。	調査団派遣 専門家派遣 長期 7名 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—) 研修員受入 高級(準高級) 一般 3名														計画打合せ 5名(理事長、船舶機関(3)、船舶工学1) 2名(理事長、船舶機関) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>継続(A)</th><th>新規(B)</th><th>帰国(C)</th><th>現在在留人数(A)+(B)-(C)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>5</td><td>0</td><td>1</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留人数(A)+(B)-(C)	人数	5	0	1	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留人数(A)+(B)-(C)																					
人数	5	0	1	4																					
【マレーシア】 マレーシア MARA ジョホールバル職業訓練校 ① 協定期間(延長) 51.2.14 ~ 55.2.13 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 文印紙 ④ 協力概要(第3年次) マレーシア国の技術者養成を目的とし、 (1)船舶機関(2)溶接(2)電気メッキの指導員への研修等の技術協力を行う。 53年度は、巡回指導派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入(を行う)。	調査団派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分(—) 新規分(42000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 2名														巡回指導 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>継続(A)</th><th>新規(B)</th><th>帰国(C)</th><th>現在在留人数(A)+(B)-(C)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留人数(A)+(B)-(C)	人数	3	0	0	3
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留人数(A)+(B)-(C)																					
人数	3	0	0	3																					

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分 時 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
【パキスタン】 パキスタン中央電気通信研究所 ① 協定期間(延長) ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 パキスタン電信総局 ④ 協力概要 パキスタン国の電気通信分野の発展 化の研究に対する技術指導を行う。 53年度、専門家派遣カウンター パート受入れを行う。	湖西田派遣 専門家派遣 長期 2名 短期 技術(4名) 当初計画 繰越分(一) 新規分(一) 研究員受入 一般 3名														観望、電子交換機、ソフトウェア、電子交換機ハードウェア、電子 制御/コンピュータ、マイクログラム、搬送、線路 関係機材 ... 各分野1名 専門家派遣状況(短長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在中継者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在中継者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在中継者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
【フィリピン】 フィリピン道路交通訓練センター ① 協定期間 52.4.12 ~ 56.4.11 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 フィリピン道路交通訓練 センター ④ 協力概要(第2年度) フィリピン国の交通技術者養成を目的とし(1)交通計画(2)交通工学(3) 交通管理の教官への助言等、技術指導 を行う。53年度、専門家派遣、研 究員、巡回指導、チーム派遣、カ ンパート受入れを行う。	湖西田派遣 専門家派遣 長期 2 短期 14 技術(4名) 当初計画 繰越分(3070) 新規分(2722) 研究員受入 高級 3 一般														巡回指導 専門家派遣状況(短長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在中継者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在中継者数 (A)+(B)-(C)	人数	2	2	2	2
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在中継者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	2	2	2	2																					

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度介協力期間												介 介 等												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(大韓民国) 韓国大田職業訓練院 ① 協定期間 (延長) 51.3.6 ~ 55.3.5 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 労働庁 ④ 協力概要 (第3年度) 韓国の技術者養成を目的とし、(1) 各 種(2) 電気(3) 電子(4) 機械(5) 仕 上(6) 指導員への助成等が技術指導に効 力ある。53年度は、機材修理チーム 派遣、専門家派遣、カウンターパート 受入を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 11名 短期 機材(4月) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—) 研修員受入 高級(準高級) / 名 一般 5名															機材修理 首長顧問、法律、電気、電子、機械、仕上 専門家派遣状況(恒長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在(在留者数) (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在(在留者数) (A)+(B)-(C)	人数	1	10	5	6
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在(在留者数) (A)+(B)-(C)																						
人数	1	10	5	6																						
(シンガポール) 日・シン訓練センター ① 協定期間 (延長) 昭和33年6月29日より5年間 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 Economic Development Board ④ 協力概要 (第2年度) シンガポール国の技術振興的産業に おける技術者養成を目的とし、53年 度は、実施協議チーム派遣し、専門 家派遣、機材供与、カウンターパート 受入を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 機材(4月) 当初計画 繰越分(—) 新規分(245,000) 研修員受入 高級(準高級) / 名 一般 4名															実施協議 (11名、18日) 理事長 専門家派遣状況(恒長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在(在留者数) (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> (視察) / 名 () / 名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在(在留者数) (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在(在留者数) (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																						

「国名」 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(ア イ) 東北タイ職業訓練センター ① 協定期間(延長) 52.12.12 ~ 53.12.11 ② 予算科目 技術協力センター費 ③ 相手国投入機関 町労働労働局 ④ 協力概要(第2年次) タイ国内(1)自動車(2)農業機械 (3)資金貸付(4)機械(5)電気・電子 (6)企業の上級技術者養成について技術協力を行う。53年度は、専門 家派遣、機械供与、コンピューター 受入れを行う。	訓練員派遣 専門家派遣 長期 11 短期 3 機材(10月) 当初計画 繰越分(---) 新規分(58000) 研修員受入 上級 1名 一般 4名														専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>滞在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	滞在者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	滞在者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
(ア イ) モンブット王工科大学 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 技術協力センター費 ③ 相手国投入機関 モンブット王工科大学 ④ 協力概要(第2年次) タイ国内における上級の修士及び博士 コースの履修者養成を目的とし、53年度は、実地研修チームを派遣し、専門 家派遣、コンピューター の受入れを行う。	訓練員派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 1名 機材(4月) 当初計画 繰越分(---) 新規分(---) 研修員受入 上級(準高級)1名 一般 4名														実地協議 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>滞在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	滞在者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	滞在者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度の協力期間												分 時 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[アフガニスタン] 電気通信訓練センター ① 協定期間(延長) ② 予算科目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力経費(第1年次) 本センターのテレビ部門に対して協力をを行う。53年度は調査用、専門家派遣を実施する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 1名 研修(10月) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—)														事前調査 (テレビ部門) 専門家派遣状況(延長別) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>残存人員数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	残存人員数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	残存人員数(A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
[エジプト] アラブ海軍大学校 ① 協定期間(延長) 5/1/6 ~ 5/11/5 ② 予算科目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 エジプト政府海軍省 ④ 協力経費(第3年次) アラブ連年の防衛費削減目的とし、 (1)海軍訓練センター(2)航海部(3) 海軍省の教官への研修等の技術指導 を行う。53年度は、専門家派遣、機 材供与、遠隔指導チーム派遣、カウン ターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 7名 短期 3名 研修(10月) 当初計画 繰越分(9707) 新規分(112,000)														巡回指導 主務顧問 1名 甲級(1) 機関(1) 型機(1) 航海(1) 機関部門 技術専門家 専門家派遣状況(延長別) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>残存人員数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	残存人員数(A)+(B)-(C)	人数	6	0	0	6
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	残存人員数(A)+(B)-(C)																			
人数	6	0	0	6																					

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度協力月別												分 時 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
【エジプト】 エジプト・シオアラ機械製造株式会社 (エジプト) ① 協定期間(延長) 52.1.30~52.1.29 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 エジプト政府工業省 ④ 協力概要 エジプト国の技能者育成を目的とし、 (1)金属加工機械(2)電機(3)繊維 機械の指導員への派遣等の技術指導を 行う。53年度は、専門家派遣、研修 員受入、巡回指導チーム派遣、カウン ーパート受入を行う。	派遣員派遣 専門家派遣 長期 2名 概計(千円) 当初計画 繰越分(5,300) 繰越分(3,000) 研修員受入 1名 2名													巡回指導 (金属加工(3) 電機(3), 首席顧問、調整員 (繊維部門(1)) 専門家派遣状況(長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(E)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(E)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(E)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(E)-(C)	人数	2	0	0	2
		継続(A)	新規(E)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(E)-(C)																			
人数	2	0	0	2																				
【サウジアラビア】 サウディ・アラビアエレクトロニクス高専 ① 協定期間 49.6.12~開校日 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 教育省 ④ 協力概要(第5年度) 中級技術者育成を目的とし(1)ラジ オ科(2)テレビ科(3)電気通信科(4) 電気計測科の教授への派遣等の技術指 導を行う。 53年度は、専門家派遣、カウン ーパート受入を行う。	派遣員派遣 専門家派遣 5名 概計(千円) 当初計画 繰越分(---) 繰越分(---) 研修員受入 高級(準高級) 1名													前画打合せ 専門家派遣状況(短期、長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																				

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分 野 等						
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	専門員派遣状況(短・長期)						
【シヨルダン】 シヨルダン王立科学院電子工学リサーチ ① 協定期間(延長) 52.12.17 ~ 56.12.16 ② 予算科目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 シヨルダン王立科学院 ④ 協力相手(第5年度) 電子応用分野, 電子工学技術者の訓練を目的とした協力をを行う。 53年度は, 専門員派遣, 研修旅行, カウンファート受入を行う。	調査員派遣 専門員派遣 長期 1名 短期 機材(1冊) 当初計画 繰越分(—) 新規分(23,000) 研修員受入 高級(洋高級) 一般 2名																			継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在20名数 (A)+(B)-(C) 人数 0 0 0 0
【トルコ】 トルコ・イスタンブール水産職業高校 ① 協定期間(延長) 48.6.1 ~ 50.6.20 ② 予算科目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 女 部 長 ④ 協力相手(第6年度) トルコ国庁水産庁長官を目的とし (1)漁業科(2)水産科(3)水産科の職員への研修等の技術指導を行う。53年度は, 専門員派遣: カウンファート受入を行う。	調査員派遣 専門員派遣 長期 2名 短期 5名 機材(1冊) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—) 研修員受入 一般 2名																			機材修理 (調整費) (4-1) (製造) (ボイラー修理) (冷凍機修理工事) (2-2-LINE用2B) 専門員派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在20名数 (A)+(B)-(C) 人数 6 2 6 2

[国名] プロジェクト名称	協力内容	53年度分協力期間												介 紹 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
[ケニア] ケニア工科大学 ① 協定期間 ② 予算科目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 教育省 ④ 協力概要(第1年度) ケニア国経済の発展に寄与する技術 を身につけた労働力の育成を図る農工 大学の設置協力を行う。 53年度については、日本側協力団 プロジェクト基本計画を策定するに より前編チームを派遣する。	調査団派遣 専門家派遣 機材(4台) 当初計画 繰越分(—) 新規分(—) 研修員受入 一般 2名 (前編前編)													専門調査 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		新規(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			新規(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	0	0	0	0																				
														(機材修理) (工パリエーション) (生活補助) (機械科) (生活専門) (機械科) (仕上科) (電気工学科) 専門家派遣状況(長・短期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		新規(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	4	2	2	4
	新規(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	4	2	2	4																				
[ケニア] ケニアNY上級技術訓練センター ① 協定期間 50.5.20 ~ 54.5.25 ② 予算科目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 労働省 ④ 協力概要(第4年度) ケニア国技能者養成を目的とし、(1)機 械科(2)仕上科(3)電気工学科の技術 員への助言等の技術指導を行う。53年 度は専門家派遣、エバチーム及び機材 修理工チーム派遣また2名の研修員受入 を行う。	調査団派遣 専門家派遣 6名 長期 機材(4台) 当初計画 繰越分(—) 新規分(20,000) 研修員受入 一般 2名													(機材修理) (工パリエーション) (生活補助) (機械科) (生活専門) (機械科) (仕上科) (電気工学科) 専門家派遣状況(長・短期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		新規(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	4	2	2	4
			新規(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	4	2	2	4																				
														(機械科) (仕上科)										

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度介協力期間												介 時 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[パラグアイ] パラグアイ職業訓練センター ① 協定期間 53.2.24 ~ 57.2.23 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 文部省 ④ 協力概要(第2年次) パラグアイ国の(1)木工(2)機械 (3)電気(4)電子(5)自動車整備(6)冷 凍・配管(7)建築の各分野について、 訓練指導を行う。 53年度は、専門家派遣、機材供与、 カウンターパート受入れを行う。	前田田派遣 専門家派遣 長期 13名 短期 機材(4円) 当初計画 繰越金(20,000) 新規金(69,000) 所修員在入 一般 5名														(前田田田、調整所、木工、機械、電気、電子、自動車整備、冷凍、配管 共集)計 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
[ブラジル] SEVAI職業訓練センター ① 協定期間 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 文部省 ④ 協力概要(第2年次) ミナス・ジェライス州での電気・電 子工業部門の技能者の技術指導を行う。 53年度は、実施協議チームE派遣し、 協力内容討議し、専門家派遣等を行う。	前田田派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 機材(4円) 当初計画 繰越金() 新規金()														実施協議 (電気、電子) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53 年 度 介 協 力 期 間													介 野 界										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
【バレー】 越後通信訓練センター ① 協定期間 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国寄入機材 運動通信着 ④ 協力概要(第2年度) バレー国(越後)通信分野の技術者の養成を 目的とし、53年度においては、事前調査結果に 基づき実施所長チームを派遣し、専門家の 名を派遣する予定である。 電話交換機、録音機、放送機(スタジオ)の送 信機材)伝送、テレックス機材、半導 体等の専門における技術者の養成を目的とする。	調査員派遣 専門家を派遣 長期 / 名 機材(4機) 当初計画 繰上分(——) 新規分(——)			←→						←→					事前調査 実施機材 専門家を派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在シ任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在シ任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在シ任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					
【ヴェネズエラ】 越後オペレーター訓練センター ① 協定期間 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国寄入機材 通信着(INP) ④ 協力概要(第1年度) ヴェネズエラの通信分野の技術者を養成する。53 年度においては、本プロジェクトの可成性、 技術協力センターが技術者の必要性等を調査 する事前調査チームを派遣する。 越後における前年度実施済み管理手法の教 育を当初200名に対し行い、結果は訓練科 員を高年次以上とし、4年制の大学に転入させ る計画である。	調査員派遣 専門家を派遣 長期 / 名 機材(4機) 当初計画 繰上分(——) 新規分(——) 研修員寄入 1名 / 名						←→							事前調査 専門家を派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在シ任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在シ任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在シ任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					

6. 保健医療協力事業

主管課(室) 医療協力部

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分 時 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[インドネシア] 数科計画 ① 協定期間 52.7~53.3/1 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次) 病棟教育、公衆活動及び母子保健 分野への協力による医療計画の普及に 協力する。 53年度は、専門医派遣・機材供与 カウ、ターバート受入れを行う。	調査団派遣 専門医派遣 長期 2名 短期 4名 機材(4H) 当初計画 繰越分(0) 新規分(52,000) 繰上(51,000) 同僚受入 一般 3名													2名×12月(研修医教育、教育工学) 4名×14日(機材機材/ VTR操作/ 教育工学/ 人学/) 専門医派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>/</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>/</td> </tr> </table> 3名×2/日(研修医教育)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人数	/	0	0	/	
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	/	0	0	/																					
															3名×1/日(計画打合せ) 1名×12月(総括) 6名×1/日(D.P.T(2)、機材機材(2) 機材調査(2)) 1名×3月(アルトウィルス) 専門医派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </table> 2名×6月(抗血清、ウィルス診断)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人数	/	/	/	/
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	/	/	/	/																					
[インドネシア] 中央生物学医学研究所 ① 協定期間 50.4~55.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第4年次) 生物材料の検定標準化及びウィ ルス研究活動に於いて協力する。 53年度は、計画打合せ、派遣専門 医派遣、材料供与、カウ、ターバ ート受入れを行う。	調査団派遣 専門医派遣 長期 1名 短期 7名 機材(4H) 当初計画 繰越分 新規分(25,000) 同僚受入 一般 2名													3名×1/日(計画打合せ) 1名×12月(総括) 6名×1/日(D.P.T(2)、機材機材(2) 機材調査(2)) 1名×3月(アルトウィルス) 専門医派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在留者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </table> 2名×6月(抗血清、ウィルス診断)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)	人数	/	/	/	/	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	/	/	/	/																					

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[イ] 家族計画 ①協定期間 49.4 ~ 54.3 ②予算科目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 保健省 ④協力概要(第5年度) 併発、教育、広報活動及び母子保健分野への協力による家族計画の普及へ協力する。 53年度は、巡回指導、機材供与を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 〇 短期 機材(7H) 当初計画 繰越分(〇) 新規分 一般(39,000) ←△-----○× 特別(37,000) ●-----△-----○× 研修員受入 高級(単独) 〇 一般 〇														4人 × 20日 (巡回指導) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
[イ] 国立がんセンター ①協力期間 52.4 ~ 55.3 ②予算科目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 公安衛生省 ④協力概要(第2年度) E1の国立がんセンターモデルとして国立がんセンターの設立及び内部機能の充実に協力する。 53年度は、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 短期 5名 機材(7H) 当初計画 繰越分() 新規分(15,000) ●-----△-----○× 研修員受入 一般 6名													6人 × 15日 (機材管理、指導班) 2人 × 30日 (機材機材) 2人 × 30日 (機材打合せ) 1人 × 30日 (T.L.D指導) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 2人 × 6ヶ月 (細胞微生物) 2人 × 6ヶ月 (細胞微生物、52年度分) 2人 × 6ヶ月 (X線)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					

(//) ●現地研修 △現地請求 ○研修 ×現地派遣

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	55年度協力期間												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
[ネパール] 面卸地蔵公衆衛生対策 ① 協定期間 43.10 ~ 56.3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第6年度) 公衆衛生の向上並びに生徒の子防汚 動に対し協力する。 53年度は、専門家派遣・機材供与、 カウンセラー受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 5名 : 機材(千円) 当初計画 総額分() 新規分(30,000) 研修員受入 高級(単高級) 一般 3名													4名×12月(公衆衛生、腫瘍検査(2) ×線技術) 1名×2週間(公衆衛生) 2名×1月(機材提供、機材調査) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在任用者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> 3名×3月(公衆衛生、腫瘍検査、×線技術)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)	人数	3	5	4	4
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	3	5	4	4																				
[フィリピン] 家族計画 ① 協定期間 47 ~ 53 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第5年度) 情報・教育・広報活動及び母子保健 分野への協力による家族計画の普及に協 力する。 53年度は、巡回指導、専門家派遣、機 材供与を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 0名 短期 機材(千円) 当初計画 総額分() 新規分一般 (25,000) 特別 (390,000)													4名×20日(巡回指導) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在任用者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 一般機材 特別機材		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	0	0	0	0																				

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
【大韓民国】 聖パウロ病院循環器センター ① 協定期間 未定 (R/D未署名) ② 予算費目 循環器科協力費 ③ 相手国受入機関 未定 ④ 協力履歴 (第1年次) 53年度は、専門派遣チームを派遣し、その報告に基づき、実施派遣チームを派遣する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 機材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0) 研修員受入 高級 (準高級) 0 一般 0					----																			
		5人 x 14日 (事前) 4人 x 20日 (実施)																							
専門家派遣状況 (短・長期)																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続 (A)</th> <th>新規 (B)</th> <th>帰国 (C)</th> <th>現在派遣数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>																	継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在派遣数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在派遣数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					
【大韓民国】 中央大学校臨床栄養学センター ① 協定期間 50.10 ~ 54.9 ② 予算費目 循環器科協力費 ③ 相手国受入機関 科学技術省 ④ 協力履歴 (第4年次) 本センターの臨床調査、研究及び栄養学・食生活研究に対し協力する。 53年度は、専門派遣、機材供与、カンファレンス参加を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 6名 機材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (35,000) 研修員受入 高級 (準高級) 一般 3名																								
		1人 x 10日 (臨床研修) / 1人 x 15日 (臨床研修) / 1人 x 7日 (蛋白質代謝) 3人 x 10日 (機材提供)																							
専門家派遣状況 (短・長期)																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続 (A)</th> <th>新規 (B)</th> <th>帰国 (C)</th> <th>現在派遣数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>																	継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在派遣数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続 (A)	新規 (B)	帰国 (C)	現在派遣数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					
3人 x 27日 (蛋白質代謝、X線造影 食餌療法)																									

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												介 介 寄						
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
[マレーシア] 公衆衛生対策 ① 協定期間 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要(第1年度) 53年度は、事前調査チームを派遣する。	調査団派遣															5名×15日(事前調査)				
	専門医派遣 長期 短期 講師(4名) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(専高教) 一般																専門医派遣状況(短・長期)			
																	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)
																人数	0	0	0	0
[スリ・ランカ] スリ・ランカ大学ペラチニヤ保健医療 ① 協定期間 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要(第1年度) 53年度は、技術協力の形態、技術者につき検討のため、事前調査チームを派遣する。	調査団派遣															5名×30日(事前調査)				
	専門医派遣 長期 短期 講師(4名) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(専高教) 一般																専門医派遣状況(短・長期)			
																	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)
																人数			3	

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度外協力期間												分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
〔インドネシア〕 北スマトラ地域保健対策 ① 協定期間 53.4.1 ~ 53.3.31 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健省 ④ 協力概要 北スマトラ地域に対する公衆衛生 対策の向上に協力する。 53年度は、専門家派遣・機材供 与、カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 3名 短期 5名 機材(4冊) 当初計画 繰越分() 新規分(37400) 10,000 (機材費) 研修員受入 一般 6名														公衆衛生(1名×5ヶ月) 産業保健学(1名×3ヶ月) 疫学(1名×6ヶ月) 保健衛生統計(1名×6ヶ月) 寄生虫学(1名×3ヶ月) 動物性伝染(1名×3ヶ月) 衛生工学(1名×2ヶ月) 微生物学(1名×1ヶ月) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在居住者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> 保健衛生(1名×15ヶ月) 臨床検査(1名×1ヶ月) 生化学(1名×3ヶ月) 微生物学(1名×5ヶ月) 衛生工学(1名×2ヶ月) 統計学(1名×3ヶ月)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在居住者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在居住者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
〔パングラティシユ〕 家族計画 ① 協定期間 51.3 ~ 56.3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健家族計画省 ④ 協力概要(第3年度) ジャカルタ府の指定地域における効 果的な家族計画の確立に対する協力。 53年度は、専門家派遣・機材供与、 カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 4名 機材(4冊) 当初計画 繰越分() 新規分(24,000) 特別 (39,000) 研修員受入 高級(非高級) 1名 一般 2名													助産師、保健看護(1名×10ヶ月)、助産師、保健看護(1名×3ヶ月) 保健看護 (2ヶ月) 公衆衛生(1名×5ヶ月) 公衆衛生(1名×3ヶ月)、計画、調整(1名×2.5ヶ月) 家族計画指導(2名×1ヶ月) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在居住者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </table> 保健医療、家族計画視察(1名×0.5ヶ月) 家族計画視察(1名×1.5ヶ月、1名×2ヶ月)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在居住者数 (A)+(B)-(C)	人数	2	0	0	2	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在居住者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	2	0	0	2																					

[国名] プロジェクト名等	協力内容	53年度介協力期間												介行等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
[フィリピン] 住血吸虫症研究対策 ① 協定期間 47~52, 53.4~56.3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国導入機関 ④ 協力概要(第7年度) 住血吸虫症撲滅のEPIの基礎研究 (予防剤の開発, 免疫学的診断法の研 究, 治療法の研究開発等)に對する協 力。53年度は, 専門家派遣・機材供 与・カウンターパート導入を行う。	調査員派遣 専門家派遣 兵期 2名 短期 5名 機材(十円) 当初計画 繰越分() 新規分(1,200) 研究員導入 一般 2名													1名×2月(薬劑検査) 1名×10月(寄生虫学) 1名×2月(感染研究) 4名×1月(寄生虫学) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在(任者数) (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 2名×3月(寄生虫学)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在(任者数) (A)+(B)-(C)	人数	0	2	2	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在(任者数) (A)+(B)-(C)																		
人数	0	2	2	0																				
[アフガニスタン] 結核対策 ① 協定期間 45.11.~54.3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国導入機関 厚生省 ④ 協力概要(第5年度) アフガニスタン国の結核対策推進 に對する協力。53年度は, EPI リエーションの派遣, 専門家派遣, 機材供与, カウンターパート導入 を行う。	調査員派遣 専門家派遣 兵期 5名 短期 9名 機材(十円) 当初計画 繰越分() 新規分(35,000) 研究員導入 一般 3名												3人×35日(EPIリエーション) 2人×12月(臨床検査) 2人×7月(結核対策) 1人×7月(予防対策) 5人×1月(公衆衛生/機材調査2) 1人×1月(機材調査/機材調査) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在(任者数) (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> 3人×6月(予防/結核対策2)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在(任者数) (A)+(B)-(C)	人数	0	10	0	10	
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在(任者数) (A)+(B)-(C)																		
人数	0	10	0	10																				

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53 年度 分 協力 期間													今 年 好 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
[ニカラグア] 国立自治大学 ① 協定期間 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力形態 特別機材	湖西田派遣 専門医派遣 長期 短期 機材 (F1) 当初計画 繰越分 () 新規分 (15,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般															<p style="text-align: center;">専門医派遣状況(短期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在+注者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在+注者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在+注者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																						
[ネパール] ビル病院 ① 協定期間 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 保健局 ④ 協力形態 特別機材	湖西田派遣 専門医派遣 長期 短期 機材 (F1) 当初計画 繰越分 () 新規分 (25,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般															<p style="text-align: center;">専門医派遣状況(短期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在+注者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在+注者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在+注者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																						

[国名] プロジェクト名称等	場 所 内 容	53 年 度 分 隔 月 期 間												分 野 等														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3															
[イ] 看護教育 ① 協定期間 未定 (R/D未署名) ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 公衆衛生省 ④ 協力概要 (第2年度) 2 (国) 保健医療体制充実のため 研修(英)等を実施に協力する。 53年度は、事前調査結果に基づき実 施協議手-ムを派遣し、R/D受入機 力を行う	看護員派遣 専門医派遣 長期 4名 研修(英) 研修科西 研修分() 研修分() 研修員受入 研修(研修機) 一般																	4人 x 20日 (文化協議) 4人 x 1ヶ月 (看護行政、看護教育、看護施設、看護協力) 専門医派遣状況 (延べ長期) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在?在留数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在?在留数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在?在留数 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																								
[エ] 保健医療体制向上計画 ① 協定期間 51.4 ~ 56.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 2 (国) 公衆衛生省 ④ 協力概要 (第3年度) モデル施設を完成し、一般二級保健 機関、県立病院の保健医療体制を充実 させる。3日研修中の中央機関の機 能を充実させることに協力する。 53年度は、専門医派遣、機材供 与、カウンセラー受入(英)を行う。	看護員派遣 専門医派遣 長期 7名 短期 5名 研修(英) 研修科西 研修分() 研修分(研修機) (58,000) 研修費 (22,724) 研修員受入 高級(研修機) 1名 一般 2名																	3名 x 1ヶ月 (計画打合せ) 1名 x 12月 (4.10-22) / 1名 x 12月 (研修) / 1名 x 10月 (研修) / 1名 x 11月 (研修) / 1名 x 12月 (研修) / 1名 x 11月 (研修) / 1名 x 11月 (研修) 1名 x 3月 (研修) / 1名 x 3月 (研修) / 1名 x 1月 (研修) 専門医派遣状況 (延べ長期) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在?在留数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> </table> 1名 x 1月 (担当観察) 1名 x 11月 (研修) / 1名 x 5月 (研修) / 1名 x 11月 (研修) 1名 x 11月 (研修) / 1名 x 11月 (研修) / 1名 x 5月 (研修)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在?在留数 (A)+(B)-(C)	人数	3	3	0	6
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在?在留数 (A)+(B)-(C)																						
人数	3	3	0	6																								

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分 助 費											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[アルジェリア] オラン科学技術大学医療センター ①協定期間 ②予算科目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 保健省 ④協力拠金(第1年度) オラン科学技術大学医療センター に対して主として眼科に、小児眼科 等分野の協力。53年度は、専門家 派遣、機材供与、カンファレンス 受入等を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 3名 短期 1名 機材(4H) 当初計画 繰越金() 新規金(2,500,000) 研修員受入 高級(半高級) 1名 一般 3名														3人×12月(眼科/視能訓練士) 1人×1月(機材打合せ) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在研修中 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>4</td><td>1</td><td>3</td> </tr> </table> 1人×15日(視察) 2人×6月(眼科)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在研修中 (A)+(B)-(C)	人数	0	4	1	3
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在研修中 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	4	1	3																					
[エジプト] 看護教育研究 ①協定期間 53.4.1~58.3.31 ②予算科目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 保健省 ④協力拠金(第2年度) エジプト国際保健センター リアム高等看護研究所に於ける 医療協力。53年度は、専門家派 遣、機材供与、カンファレンス 受入等を行う。	調査員派遣 専門家派遣 短期 3名 機材(4H) 当初計画 繰越金() 新規金(10,000) 研修員受入 高級(半高級) 1名 一般 4名														3人×3ヶ月(看護教育/公衆衛生研修/視能視教育) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在研修中 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table> 4人×3ヶ月(看護研修等)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在研修中 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在研修中 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協定期間												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
[カナダ] ガーナ大学医学部 ①協定期間 43.6 ~ 55.6 ②予算科目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 ガーナ大学医学部 ④協力概要(第1年次) 疫学生理学及び免疫学における基礎的研究並びに教育に資する協力の実施。専門家を派遣、機材供与、カンファレンス受入等を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 15名 短期 3名 機材(4H) 当初計画 繰越分() 新規分(40,000) 研究員受入 高級(学高級) 1名 一般 2名													3×4月(疫学生理学) 2×6月() 1×11月() 1×7月(免疫学) 1×12月() 2×10月(疫学生理学) 1×11月() 2×2月() 2×2月(免疫学・細菌) 1×15日(疫学生理学) 2×2月(機材供与) 専門家派遣状況(続・次期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在2名(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>18</td> </tr> </table> 1×25日(疫学) 2×6月(免疫学・疫学生理学)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在2名(A)+(B)-(C)	人数	8	10	0	18
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在2名(A)+(B)-(C)																		
人数	8	10	0	18																				
[ナイジェリア] イフェ大学医学部 ①協定期間 53.1 ~ 54.12 ②予算科目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 ④協力概要(第2年次) 生物、寄生虫、微生物学分野の基礎医学教育に資する協力の実施。53年度は、専門家を派遣、機材供与、カンファレンス受入等を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 2名 機材(4H) 当初計画 繰越分() 新規分(10,000) 研究員受入 高級(学高級) 1名 一般 3名												1名×5月(公衆衛生学) 1名×15日(解剖学) 1名×3月(微生物学) 1名×6月(寄生虫学) 専門家派遣状況(続・次期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在2名(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> 1名×6月(寄生虫学) 1名×6月(生理学) 1名×6月(寄生虫学)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在2名(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在2名(A)+(B)-(C)																		
人数	0	0	0	0																				

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間別												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[イラン] 産科衛生・核医学 ① 協定期間 53.4.1～57.3.31 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国専任機関 テヘラン大学医学部(核医学) 公衆衛生学部(産科衛生) ④ 協力概要(第1年分) テヘラン大学アラス病院医学部核医学研究科での診断技術の向上及び設備の拡充。また同大学公衆衛生学部産科衛生学教室を主軸とし、産科衛生分野での研究活動の促進及び専員への研修へ協力する。53年度は専門医派遣・機材提供・カウンセラー派遣を行う。	調査員派遣 専門医派遣 長期 1名 短期 5名 機材(4月) 当初計画 繰越分() 新規分(00000) 研修員派遣 高級(研修版) 1名 一般 5名													1名×6月(産科衛生) 1名×1月(産科衛生)、1名×2月(産科衛生)、1名×1月(核医学) 専門医派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> 1名×2週(視察) 2名×1月(核医学) 1名×12月(産科衛生)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任数(A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
															<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table> 1名×14日(視察) 1名×5ヶ月(放射力学) 1名×5ヶ月(検査分析)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任数(A)+(B)-(C)	人数	0	1	0	1
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任数(A)+(B)-(C)																					
人数	0	1	0	1																					
[チュニジア] 薬品品質管理 ① 協定期間 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国専任機関 ④ 協力概要 チュニジア国立薬学研究所に対し医薬品の品質管理の試験研究に当たる協力。研究内容は(1)薬効力学(2)医薬品の化学分析(3)医薬品の微生物検査(4)医薬品の微生物学的試験研究である。53年度は専門医派遣・研修員派遣を行う。	調査員派遣 専門医派遣 長期 1名 短期 2名 機材(4月) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員派遣 高級(研修版) 1名 一般 2名												1名×10ヶ月(薬品品質管理) 1名×4ヶ月(放射力学) 1名×4ヶ月(検査分析)												
																1名×14日(視察) 1名×5ヶ月(放射力学) 1名×5ヶ月(検査分析)									

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	55年度分協力期間												介 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[ケニア] 国立公衆衛生研究所 ① 協定期間 R/D未署名 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年度) 国立公衆衛生研究所の設立に協力 カする。53年度は、実施協議フェーズ を派遣し、R/Dを交換することによ り協力を開始する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 2名 機材(JH) 当初計画 繰越分() 新規分() 研究員受入 高級(準高級) 2名 一般														4人×20日(実施協議) 2人×32日(ウイルス学、病態学各1名) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>繰越(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 1名×2回(視察)		繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					
[クンサニア] 結核対策 ① 協定期間 49.4~54.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第3年度) クンサニア公衆衛生面への問題となっ ている結核を、クンサニア北部地域 の結核患者発生率低下を計るため の協力。53年度は、専門家派遣、 カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(JH) 当初計画 繰越分() 新規分() 研究員受入 高級(準高級) 一般 2名														1名×3ヶ月(結核対策) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>繰越(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 1名×4回(結核対策) 1名×4回(結核対策細菌疫学者)		繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	1	0	1	0
	繰越(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	1	0	1	0																					

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度各協力期間												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
[ナイジェリア] ナイジェリア大学医学部 ① 協定期間 53.1 ~ 54.12 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国専任機関 経済開発局 ④ 協力概要(第2年次) 病理、寄主虫2分野の基礎医学教育に対する協力。 53年度は、専門医派遣、教材供与、カンファレンス参加(を行う)	胡森田派遣 専門医派遣 長期 短期 5名 教材(4冊) 当初計画 繰上(分)) 新規分(10000) 研修費供与 新規(2名)) 一般 5名													2名×11(内視鏡)、1名×3月(解剖学)、1名×11(解剖学) 1名×1月(寄生虫) 専門医派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在籍数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 2名×2H(Audio Visual)、1名×5H(解剖学)、1名×2H(寄生虫学)、1名×2H(解剖学)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍数 (A)+(B)-(C)	人数	0	2	0	2
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍数 (A)+(B)-(C)																		
人数	0	2	0	2																				
[中央アフリカ] 薬局管理 ① 協定期間 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国専任機関 ④ 協力概要 特別技術	胡森田派遣 専門医派遣 長期 短期 教材(4冊) 当初計画 繰上(分)) 新規分(15000) 研修費供与 新規(2名)) 一般													専門医派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在籍数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍数 (A)+(B)-(C)																		
人数	0	0	0	0																				

(54)

●実施協定

△派遣開始

○派遣終了

×現地帰着

[国名] プロジェクト名等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[パラグアイ] 保健省 ① 協定期間 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国投入機関 ④ 協力概要 特別機材	調査員派遣 専門員派遣 長期 短期 機材(十冊) 当初計画 繰越分() 新規分(6000) 研修員投入 高級(半宿校) 一般														専門員派遣状況(進・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
															2名×1月(機材機材) 1名×10日(健康診断) / 1名×10日(師範派遣) 1名×2月(臨床検査) 1名×1H(外科) 専門員派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 1名×14日(視察) 1名×6日(健康診断) / 1名×6日(内視鏡) / 1名×6H(検査室)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)	人数	2	0	2	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)																					
人数	2	0	2	0																					
[アルゼンティン] 健康管理システム強化 ① 協定期間 52.4~52.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国投入機関 アルゼンティン国厚生省 ④ 協力概要(第2年次) 日会英済会診療所による疾病の防 治・衛生管理等地域住民の保健以 上のための健康管理システム強化に 対する協力。 53年度は、専門員派遣、機材供与、 カウンパート投入を行う。	調査員派遣 専門員派遣 長期 短期 5名 機材(十冊) 当初計画 繰越分() 新規分(52,000) 研修員投入 高級(半宿校) / 名 一般 3名													2名×1月(機材機材) 1名×10日(健康診断) / 1名×10日(師範派遣) 1名×2月(臨床検査) 1名×1H(外科) 専門員派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 1名×14日(視察) 1名×6日(健康診断) / 1名×6日(内視鏡) / 1名×6H(検査室)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)	人数	2	0	2	0	
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)																			
人数	2	0	2	0																					
															1名×14日(視察) 1名×6日(健康診断) / 1名×6日(内視鏡) / 1名×6H(検査室)										

[国名] プロジェクト名 林寺	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[コロンビア] コロンビア大学医学部 ① 協定期間 54.4 ~ 54.3 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国返入機関 ④ 協力概要(第3年度) コロンビア大学医学部を通じて、 コロンビア国の基礎医学分野の研究 向上に協力する。 53年度は、専門家派遣、カンファ パート返入を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 2名 短期 2名 機材(1回) 当初計画 繰越分() 新規分() 研究員返入 高級(準高級) 一般 4名														2名×12月(湘陽号、恩賜操作) 2名×1月(機材機材) 専門家派遣状況(短長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>継続(A)</th><th>新規(B)</th><th>帰国(C)</th><th>現在×在留数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td> </tr> </tbody> </table> 4名×3月(湘陽号)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在×在留数 (A)+(B)-(C)	人数	1	2	1	2
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在×在留数 (A)+(B)-(C)																				
人数	1	2	1	2																					
[ソロモン] 中火病院 ① 協定期間 ② 予算科目 保健医療協力費 ③ 相手国返入機関 ④ 協力概要 特別機材	調査員派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(1回) 当初計画 繰越分() 新規分(1,000) 研究員返入 高級(準高級) 一般														専門家派遣状況(長短期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>継続(A)</th><th>新規(B)</th><th>帰国(C)</th><th>現在×在留数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在×在留数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在×在留数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												外 資 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
【ボリビア】 消化器疾患研究対策 ① 協定期間 52.4 ~ 53.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国返入機関 ボリビア国厚生省 ④ 協力概要(第2年次) 早期胃癌を中心とした消化器 疾患対策に対する協力。53年度は、巡回指導派遣、専門 家派遣、検体供与、カウンター パート導入(5名)を行う。	巡回指導 専門家派遣 長期 4名 短期 10名 検体(4H) 当初計画 経費分() 新増分(18,000) 研修員導入 一 派 7名														3名×21日(ボリビア・ブラジル巡回指導) 1名×7月(内科系)、1名×6月(内科系)、1名×2月(医療アドバイザー) 1名×10月(X線技術) 4名×6月(病理学) 1名×7月(X線技術) 2名×3月(外科系) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他院(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> 1名×3月(内科)、1名×5月(外科) 2名×11月(消化器)、1名×5月(消化器) 2名×6月(消化器)		他院(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)	人数	5	3	1	7
			他院(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)																			
人数	5	3	1	7																					
【パラグアイ】 がん対策 ① 協定期間 (R/D未署名) ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国返入機関 パラグアイ国厚生省 ④ 協力概要(第2年次) パラグアイ国カンカイ・シイ病院 所を中心としたがん対策に対する 協力。53年度は、巡回打合せ派遣 巡回指導、カウンターパート導入 を行う。	巡回指導 専門家派遣 長期 1名 短期 2名 検体(4H) 当初計画 経費分() 新増分() 研修員導入 高級(洋版) 1名 一 派 2名														3名×15日(巡回打合せ) 1名×12月(がん病) 1名×1月(がん病)、1名×1月(臨床検査) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他院(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在留数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> 1名×14日(視察) 2名×6月(がん病)		他院(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)	人数	1	0	0	1
			他院(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留数 (A)+(B)-(C)																			
人数	1	0	0	1																					

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度計画協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[チリ] 胃がん対策 ①協定期間 52.4~55.3 ②手厚費目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 ④協力概要(第2年度) チリ大学医学部を中心とした早期 胃がん集団検診の実施に対する協 53年度は、前年度と連携、専門家 派遣機材供与、カウンターパート 受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 6名 機材(4月) 当初計画 繰越分() 新規分(55,000) 研修員受入 高級(単高級) 一般 3名														4名×25日(計画打合せ) 1名×7月(X線技術) 6名×6月(内視鏡(2) X線技術(3) 病理学(1)) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在?任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>6</td><td>0</td><td>3</td><td>3</td> </tr> </table> 3名×6月(X線技術、内視鏡、病理学)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在?任者数 (A)+(B)-(C)	人数	6	0	3	3
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在?任者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	6	0	3	3																					
[ブラジル] ホルト・アレカトリック大学 成人病研究所 ①協定期間 52.1~54.3 ②手厚費目 保健医療協力費 ③相手国受入機関 ④協力概要(第3年度) 成人病研究所の施設改善・施設利用、 消化器部門の拡充に対する協力、 53年度は、巡回指導、専門家派遣、 機材供与、カウンターパート受入れ を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 3名 機材(4月) 当初計画 繰越分() 新規分(10,000) 研修員受入 高級(単高級) 一般 4名														4名×14日(巡回指導) 1名×15日(検査)、2名×3日(検査、施設改善) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在?任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td> </tr> </table> 1名×3月、5名×6月(成人病対策)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在?任者数 (A)+(B)-(C)	人数	1	0	1	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在?任者数 (A)+(B)-(C)																			
人数	1	0	1	0																					

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分 時 等								
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
【エクアドル】 微生物病研究対策 ① 協定期間 52.4 ~ 52.3 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 公衆衛生省 ④ 協力概要(第2年度) 微生物学を中心とした熱帯病疾患 に関する研究に対する協力。 53年度は、前年度に引き続き、専門家 派遣・技術協力、カウンターパート受 入を行う。	細菌学派遣 専門医派遣 兵期 3名 医期 5名 検材(4月) 当初計画 繰越分() 新規分(62000) 研修員受入 高級(半信使) 1名 一般 4名													31x15日(計画打合せ派遣) 21x12月(他国等) (相手国受入機関) 11x12月(他国等) 21x30日(検材等) 11x30日(検材等) 21x30日(検材等)								
	専門医派遣状況(他国等)												<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在滞在者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在滞在者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	4	1
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在滞在者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	0	4	1	3																		
【ブラジル】 オンコセルカ症研究対策 ① 協定期間 50.10 ~ 55.10 ② 予算費目 保健医療協力費 ③ 相手国受入機関 厚生省 国立マリアリア実験機関 ④ 協力概要(第4年度) 中南米に流行する寄生虫病オンコセルカ症 を媒介虫コントロールによりその蔓延防止対策 を確立せんとするものである。 53年度は、実施計画に於き、州別に媒介虫 の生態調査と薬剤散布の全体計画、後半に薬 剤散布と化学療法の実施を行う。53年度は エパルメーシヨ派遣、専門医派遣、検材協 力、カウンターパート受入を行う。	細菌学派遣 専門医派遣 兵期 10名 医期 7名 検材(4月) 当初計画 繰越分() 新規分(57000) 研修員受入 高級(半信使) 1名 一般 2名													31x35日(エプアリュエーション) 10x12月(リブー、検材)、11x12月(調整費) 10x12月(調整)、20x12月(寄生虫)、10x12月(寄生虫) 30x12月(昆虫)、10x12月(昆虫) 10x12月(昆虫)、10x12月(昆虫)、10x12月(昆虫) 10x12月(昆虫)、10x12月(昆虫)、10x12月(昆虫) 10x12月(昆虫)、10x12月(昆虫)、10x12月(昆虫)								
	専門医派遣状況(他国等)												<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在滞在者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在滞在者数 (A)+(B)-(C)	人数	2	1	1
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在滞在者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	2	1	1	2																		

7. 農林業関係協力事業

主管課(室) 農林業技術協力課

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
(インドネシア) (フィリピン) ① 協定期間(延長) ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年次) 計画基準作成調査は、農林業協力事業 をより効果的に進めるため、計画策定又 は設計に必要な一定の基準を作成し、派 遣専門員及び調査団が計画を作成する際 の指針をまとめようとするので、53 年度は、造杯に因る計画基準を作成す る調査を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 研修員受入 高級(準高級) 一般													基礎調査 専門家派遣状況(短長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	0	0	0	0																				
(インド) (スリランカ) ① 協定期間(延長) ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年次) 南東島調査は、農林業協力事業が新 たな分野に拡大する傾向に対処してその 調査手法を調査研究し、新しいタイプの 協力事業に適用していこうとするので、 53年度は、協力対象の評価手法について 調査する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 研修員受入 高級(準高級) 一般												基礎調査 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	0	0	0	0																				

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(タイ) 中堅技術者養成 ① 協定期間(延長) 53.8～57.7 ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年次) 地域農業、普及員の養成・訓練を目的とするが、エシあたり現行のかんがい機、集約型プロジェクト内の研修センターはカピサート大学施設整備としての設立予定である普及センターにての協力。53年度は、実施協議チームを派遣。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画() 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(専任級) 一般				①											① 事前調査 ② 実施協議 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在任用者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																						
(インドネシア) 南スマトラ森林造成 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年次) 森林造成の計画的作業、機械化作業等についての技術の研修訓練への協力。53年度は、事前調査チームの派遣及びカウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画() 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(専任級) 一般 / 名															事前調査 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在任用者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																						

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(インドネシア) リモートセンシング技術開発 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力年度(第 年次)	調査員派遣 専門家派遣2名 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般														事前調査 実施協議(未定) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					
(インドネシア) 中堅技術者養成 ① 協定期間(延長) 53.8 ~ 57.7 ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力年度(第 1 年次) 農林普及員の養成訓練を目的とし、助言、指導及び地域訓練センターの強化・拡充するための協力。 53年度は、実施協議及び計画、打合せチームの派遣・機材供与を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(29,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般														実施協議、計画打合せ(未定) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分・物・力期間												分野名		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
〔パラグアイ〕 イタプア州茶産出普及 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年度) 森林の適口利用開発及び更新の技術 開発を目的とし、イタプア県の入植者へ 林業、技術普及のための技術開発及び研修 への協力。 53年度は、実施協議及び長期調査員の 派遣を行う。	調査員派遣					←-->					←-->				実施協議 林業開発計画 専門家派遣状況(短・長期)	
	専門家派遣 長期 短期 長期調査員															継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数 (A)+(B)-(C)
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()															人数 0 1 0 1
	研修員受入 高級(準高級) 一般															
〔パラグアイ〕 テラロシア農業開発 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年度) 地域農業の栽培体系及び機械化農業体 系の確立を目的として、カピタンミラン グの地域農業、試験場を中心に、播種機 械・畑作・宿作稲作技術及び動物飼育等 の技術訓練への協力。53年度は、実施 協議・長期調査員の派遣を行う。	調査員派遣					←-->					←-->				実施協議 協力企画調整 農業開発計画 専門家派遣状況(短・長期)	
	専門家派遣 長期 短期 長期調査員 2名															継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数 (A)+(B)-(C)
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()															人数 0 2 0 2
	研修員受入 高級(準高級) 一般															

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
(シリア) メスケネ試験農場 ① 協定期間(延長) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年度) 門借によるユーフラテス河流域メスケネ 地区灌漑プロジェクトの有効利用を図る ため試験基盤を設置し、農作物の試作及 び適地作物の研究開発し、普及を図る協 力。53年度は、事前調査チーム、長 期調査員派遣を行う。	調査員派遣													事前調査 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在任用者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)																			
	人数	0	0	0	0																			
	専門家派遣																							
長期																								
短期																								
概 材(千円)																								
当初計画																								
繰越分()																								
新規分()																								
研修員受入																								
高級(準高級)																								
一般																								
(アフガニスタン) 稲作開発 ① 協定期間(延長) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年度)	調査員派遣												実施設計 リーダー、報告、調整 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在任用者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0	
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)																			
	人数	0	0	0	0																			
	専門家派遣 3名																							
長期																								
短期																								
概 材(千円)																								
当初計画																								
繰越分()																								
新規分(27,928)																								
研修員受入																								
高級(準高級)																								
一般																								

(風名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
(タイ) えび養殖 ① 協定期間(延長) 48.4~53.3 終了 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第6年次) タイ国のえび養殖の生産性を改良し、 生産性を高めるため養殖技術の協力。 53年度は、専門家派遣、機材供与を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(15,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般													専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数				
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																		
人数																								
(タイ) 養蚕 ① 協定期間(延長) ① 44.3~53.3 ② 53.3~55.3 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年次) 養蚕技術の普及・原蚕種の製造技術者の教育訓練等を行う為、タイ東北部にコラート養蚕訓練センターを設置する。併せて同センターで育成された蚕品種の増産・農民の教育訓練を4サブセンターを設置し、行ラととるに6~10カ所のパイロット養蚕農家向けに末端農民まで養蚕技術を普及する協力。 53年度は専門家派遣、機材供与カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(15,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 5名													リーダー1名、蚕種製造1名、製糸1名、病虫1名 計4名 製糸機機材等2名 合計 6名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td> </tr> </table> 8月中旬以降4名 製糸 1名 合計 5名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	4	2	2	4
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																		
人数	4	2	2	4																				

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分 野 等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
〔バングラデシュ〕 園芸研究 ① 協定期間(延長) 52.9~57.9 ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力機界(毎2年次) 園芸研究センター及び関係機関地方農場での(1)かんまろ改良のための品種研究及び圃場適応試験(2)野菜種子増殖のための品種研究及び圃場適応試験(3)産保栽培圃場に対する巡回指導に対する協力。53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査圃派遣 専門家派遣 長期 4 短期 0 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(51,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般															計画打合せ 園長、調整、機材、果樹 12 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数(A)+(B)-(C) 人数 4 0 0 4 2名 野菜02果樹1名
〔バングラデシュ〕 農業普及 ① 協定期間(延長) ① 48.4~53.3 ② 53.3~58.3 ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力機界(毎6年次) 中央農業普及技術研究所において(1)農業普及のための方法及び技術的資料の開発(2)農業技術実用化試験(3)普及員養成のための教員養成と技術担当者の訓練(4)普及実験場の設置・運営に協力する。53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査圃派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(69,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般															計画打合せ 園長、調整、普及、かんがい、農機具、栽培、工農用材、園芸材料、生活改善、普及展示、機材改良 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数(A)+(B)-(C) 人数 8 0 0 8 2名 病虫獣 普及

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
〔パキスタン〕 〔タンザニア〕 ① 協定期間(並長) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年次) 農林業専門家新たな分野に拡大する傾向 に対応してその開発手法を調査研究し、新しい タイプの協力事業に適用して(1)にらとする もので、53年度は、地域農村総合開発に ついて調査する。	調査員派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(並高級) 一般															基礎調査 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																						
〔ミクロネシア〕 漁業開発 ① 協定期間(並長) 53.1.28～54.3.31 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 2 年次) ミクロネシアのカツオ漁業開発に因して、 餌料感測の技術移転を行うため、技術指導 訓練及び漁船等の機材供与に対し協力する。 53年度は、実施協議チーム派遣し、長期調 査員の派遣及び機材供与を行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分(25,232) 新規分(30,000) 研修員受入 高級(並高級) 一般															実施協議 プロジェクトリーダー、漁場長、漁民長、船務2名、庄橋 業務調整 計7名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	7	0	0	7
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	7	0	0	7																						

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
〔大韓民国〕 農林研究 ① 協定期間(延長) 49.6.7~54.6.6 ② 予算項目 農林業協力員 ③ 相手国受入機関	調査員派遣				←→									E/M/CO-エーション リーダー1名 機械化田植2名, 炭酸生理生熊1名, 水稲苗種養成1名, 遺伝と耐病性 虫1名, 土壌肥料1名, 土壌保全1名, 水稲冷害生理 1名, 除草剤1名, 施設園芸1名 専門家派遣状況(短・長期)
	④ 協力概要(第5年次) 食糧増産及び農民の所得向上を図るため, 水稲, 普通作物及び野菜の研究に對しての協 力。53年度は, E/M/CO-エーションの派 遣・専門家派遣・機材供与及びカウンターパ ートを受入れている。	専門家派遣 長期 1 短期 10 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(51,000) 研究員受入 高級(準高級) 3名 一般 10名		←→										
〔フィリピン〕 パンタバンガン森林造成 ① 協定期間(延長) 51.6~53.6(R/D) 53.6~54.6 ② 予算項目 農林業協力員 ③ 相手国受入機関	調査員派遣													巡回指導 アドバイザー 造林, 治山, 森林管理, 治山 計6名 アドバイザー 造林, 森林管理 計4名 専門家派遣状況(短・長期)
	④ 協力概要(第3年次)	専門家派遣 長期 6 短期 4 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(117,000) 研究員受入 高級(準高級) 1 一般 5		△										

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分 野 等							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
〔フィリピン〕 カガマン農業開発 ① 協定期間(延長) 51.2.27~53.4.30(56) 53.2.~58.2 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第4年度) ダム湖上流に広がる民衆草原における森林 造成協力を確立するため、地域的に技術協力 センターを設け、約8,000HAのパイロット フォレストを造成し、森林維持等の開発、改 良及び森林、畜産を行う。53年度は、巡回指 導の派遣、専門家派遣の機材供与を行う。	調査団派遣					---								巡回指導							
	専門家派遣 長期 短期													①リーダー、②かんがい、③栽培、④農業機械、⑤普及、⑥業務調整 計6名							
	機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分(66,000)													①② 機械器具、③土壌 ④病虫害、農村社会経済、測量 計6名							
	研修員受入 高級(準高級) 一般													専門家派遣状況(短・長期)							
													継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)					
													人数	6	1	0	7				
〔インドネシア〕 南スラウエシ農業開発 ① 協定期間(延長) 51.12~54.6 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第3年度) 南スラウエシ州地域農業に関する調査及 び分析、同地域農業開発基本計画の検討及び 実施、上記計画の専門家別農業開発計画の策定、 上記計画策定における実施計画の策定及び計 画作成担当者の訓練に協力する。 53年度は、巡回指導、エバリュエーショ ンの派遣、専門家派遣、機材供与、カウンタ ーパートの受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 5 短期 12				①←→		②←→						①巡回指導・②エバリュエーション アドバイザー1名、チームリーダー1名、学歴1名、農業技術1名、 業務調整1名 各々54'6/中 まで滞在								
	機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分(11,000)												水質調査1名、園芸(20X)1名、水産(北島産)1名、畜産1名、非地改良 1名、流通計画1名、地下水1名、土壌①/名、土壌②/名、地質調査②/名								
	研修員受入 高級(準高級) 一般												専門家派遣状況(短・長期)								
													継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在留者数 (A)+(B)-(C)					
												人数	6	1	0	7					
												高級4名 一般①5名 ②3名 合計12名									

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間													分野等				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
(インドネシア) 農業研究 ① 協定期間(延長) ① 45.10~53.10 ② 53.10~58.10 ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第9年次) 同国ボゴール市にあるインドネシア中火農 業研究所において、(1)食用作物主要病害虫の 生態と防除に関する研究(2)食用作物の主要 病害虫及びウイルス病の媒介昆虫の発生予測 に関する研究(3)食用作物の生理障害及び注 要病害虫に関する植物生理学に対する協力。 53年度は、巡回指導、エバリユエーションの 派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパ ート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 4 短期 12 機材(千円) 当初計画 繰越分(55,000) 新規分(51,000) 研修員受入 高級(専高級)1名 一般				0<-->			2<-->				3<-->			① エバリユ エーション リーダー1名、作物1名、昆虫1名、病理1名、 昆虫分類1名、野菜防除1名、植物病理1名、植物ウイルス1名、 植物生理1名、農林残留1名、昆虫(発生予測)1名 機材提供(マシ室2名)、機材提供3名 専門家派遣状況(短・長期)				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> 1名 作物1、病理1、生理1、昆虫1名 計4名 合計 5名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	5	3	1	7							
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)															
人数	5	3	1	7															
(ブラジル) 農業研究 ① 協定期間(延長) 57.9.30~57.9.29 ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次) セラード地域の農業開発に資するため同地 域の農業生産システム確立上必要な試験研究 に協力する。53年度は、専門家派遣・機材 供与及びカウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 7 短期 4 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(102,000) 研修員受入 高級(専高級) 一般				< >									巡回指導 4名 リーダー1名、植物病理1名、昆虫1名、作物栽培2名 土壌作物水分1名、選給員1名、 気象1名、土壌1名、農林機械1名、農業経営1名 専門家派遣状況(短・長期)					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> 高級 2名、人区定 3名 合計 5名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	7	0	0	7							
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)															
人数	7	0	0	7															

〔国名〕 プロジェクト名称名	協力内容	53年度分協力期間												分野等																		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在担任者数 (A)+(B)-(C)															
〔千里〕 養殖 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 養殖業協力費 ③ 相手国受入機関 府漁水産局 ④ 協力概要(第1年次) 魚卵資源に恵まれた千里のサケ、マス養殖 に対する協力を中心として沿岸水域における 有用魚具類の増産のための協力する。 53年度においては上記に係る可能計画を調 査するため事前調査チームを派遣する。	調査団派遣																															
	専門家派遣 長期 短期 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般																															
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:5%;"></td> <td style="width:15%;">継続(A)</td> <td style="width:15%;">新規(B)</td> <td style="width:15%;">帰国(C)</td> <td style="width:15%;">現在担任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在担任者数 (A)+(B)-(C)	人数									
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在担任者数 (A)+(B)-(C)																												
人数																																
〔イラン〕 ザボール農業研究 ① 協定期間(延長) 52.10~54.10 ② 予算科目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次)	調査団派遣																															
	専門家派遣 長期 6 短期 3 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分(29,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 3名																															
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">専門家派遣状況(短・長期)</td> </tr> <tr> <td style="width:5%;"></td> <td style="width:15%;">継続(A)</td> <td style="width:15%;">新規(B)</td> <td style="width:15%;">帰国(C)</td> <td style="width:15%;">現在担任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>																		専門家派遣状況(短・長期)						継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在担任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
専門家派遣状況(短・長期)																																
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在担任者数 (A)+(B)-(C)																												
人数	0	0	0	0																												

〔国名〕 プロジェクト名称名	協力内容	53年度分協力期間												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
〔ビルマ〕 農業開発 ① 協定期間(延長) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年次) ビルマ国における米・小麦・とうもろこし等の高収品種の適用、肥料試験等の研究を行々とともに、普及員及び農民の訓練等への協力。53年度は、事前調査、実施調査チームを派遣する。	調査団派遣													事前調査 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在籍者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍者数 (A)+(B)-(C)	人数				
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍者数 (A)+(B)-(C)																			
	人数																							
	専門家派遣 長期 短期																							
概算(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()																								
研修員受入 高級(準高級) 一般																								
〔ビルマ〕 アラカン山系農業開発 ① 協定期間(延長) 52.10~57.3 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次) アラカン山系の森林開発に資するため、山地林における伐出技術体系の確立を目的として(1)山地林開発技術協力センター(2)パイロット伐出センターを設立し、集材及び集材管理技術等の普及、改良及び教育訓練への協力。53年度は、実施設計チームの派遣、専門家派遣、機材貸与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣												実施設計 前年度調査、機材調査、伐折・搬出、伐出計画、架線集材(2)伐出用機材 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在籍者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	3	0	3	
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍者数 (A)+(B)-(C)																			
	人数	0	3	0	3																			
	専門家派遣 長期 7名 短期																							
概算(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(100,000)		△																						
研修員受入 高級(準高級) 一般 2名																								

〔区名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
〔ビルマ〕 畜産開発 ① 協定期間(延長) 53.1~57.1 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次) 畜産公社経営にかかわるラングーン近郊の養 豚場、養鶏場、飼料工場及び新設するウシ舎所 の訓練指導への協力。53年度は、計画打合 せチームの派遣、専門家派遣機材供与、カウ ンターパート受入れを行う。	調査員派遣								←→					計画打合せ 養豚 養鶏調整 豚豚 衛生 栄養飼料 各1名 専門家派遣状況(短・長期)	
	専門家派遣 長期 2 短期 3								←						継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現任<在任者数(A)+(B)-(C)>
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(80,000)									△					人数 0 0 0 0
	研修員受入 高級(専高級) 一般									←→					高級 2名
〔タイ〕 カセサート大学 ① 協定期間(延長) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年次) カセサート大学施設の整備拡充及び研究普 及の技術協力。53年度は、研究・普及の専 門家及び機材等につき、内容の検証・協力を 向学につき事前調査を行う。	調査員派遣				---									事前調査 専門家派遣状況(短・長期)	
	専門家派遣 長期 短期 長期調査員2名														継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現任<在任者数(A)+(B)-(C)>
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()														人数 0 0 0 0
	研修員受入 高級(専高級) 一般														

(25)

・実地研修

△機材供与

○派遣

×現地派遣

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(マレーシア) 水管理・かんがい農業開発 ① 協定期間(延長) 52.9.3~57.9.2 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年度) ケランタン州コタバル市に水管理訓練センターを設置し、技術者を養成する。センター付属のデモンストレーションファーム/カ所(6ha)及び周辺に4カ所(各20ha)のパイロットファームを1カ所かんがい農業の演示に協力する。53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材貸与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 2名 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(58,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般			←→					←→						① 計画打合せ ② 巡回指導 リーダー、相作股長、かんがい技術、水管理、業務調整 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td> </tr> </table> 2名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	5	0	0	5
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	5	0	0	5																					
															*										
(ネパール) ジマナカポール農業開発 ① 協定期間(延長) 46.11.26~49.11.8(7/10) 49.11.7~54.11.8 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第8年度) 農民の所得増進と生活水準向上を目的とし(1)バリエイナート管区農場(40ha)での改良農業技術の導入、演示及び普及(2)プロジェクトセンターの設置、運営(3)深井戸かんがい地区(420ha)での基礎整備と集約農業の普及(4)ラプティ模範農場(8ha)での改良農業技術の導入、演示及び普及(5)山内地区での改良農場の設置運営と巡回指導及び調整計画の策定への協力。53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材貸与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 15名 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分(100,000) 新規分(66,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般	←→							←→						① 巡回指導 ② 巡回指導 シニアアドバイザー、プロジェクトリーダー、農芸、蔬菜、普及業務調整 建設設計、土壤、山地開発 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>9</td><td>1</td><td>0</td><td>10</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	9	1	0	10
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	9	1	0	10																					

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野	算											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
〔ブラジル〕 林業研究 ① 協定期間(延長) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機内 ④ 協力概要(第3年度) サンパウル州地域の流域保全に対する森林 造成及び管理技術開発に関する協力。53年 度は、実施協議チーム及び長期調査員の派遣 及びカウンターパート受入れを行う。	調査員派遣												←--→			実施協議 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在任用者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)																					
	人数	0	0	0	0																					
	専門家派遣 長期																									
短期																										
機材(千円)																										
当初計画																										
繰越分()																										
新規分()																										
研修員受入 高級(準高級) 一般 / 名													←-----→													
〔ブラジル〕 リベラ川流域開発 ① 協定期間(延長) 50.3.10 ~ 53.3.9(8%) 53.3.10 ~ 58.3.9 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機内 ④ 協力概要(第4年度) サンパウル州リベラ川流域の農業開発を 推進するため、適作物の選定、実用性の試験 ・研究及び普及等の開発並びにこれら研究を おける技術の波及率の増進を有する開発センタ ーの設置に協力する。53年度は、巡回指導 の派遣・専門家派遣、機材供与及びカウンタ ーパート受入れを行う。	調査員派遣												←--→			巡回指導 5名 リーダー 2/4名(帰国、後任リーダー着任の約9月まで交替) テク.アド / 名、栽培 / 名、農業土木 / 名、 計画調整員 2名 農業土木(石匠) / 名 農業経営 / 名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在任用者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> </table> 農林水資源 1名 小規模用水 1名 耕作普及 1名 <u>合計 5名</u>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)	人数	5	2	1	6
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)																					
	人数	5	2	1	6																					
	専門家派遣 長期																									
短期 → 検査中の場 省略																										
機材(千円)																										
当初計画																										
繰越分()																										
新規分(80,000)																										
研修員受入 高級(準高級) 一般																										

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野	時		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔ウルグアイ〕 野菜研究 ① 協定期間(延長) 53.2~58.2 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次)	調査団派遣															計画打合せ 野菜育種、野菜栽培(2名)、調整 馬鈴薯ウイルス 野菜育種、馬鈴薯育種、植物病理、害虫 専門家派遣状況(短・長期)	
	専門家派遣 長期 短期																継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数(A)+(B)-(C)
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(10,000)																人数 0 0 0 0
	研修員受入 高級(準高級) 一般																視察1名 研修生1名
〔コスタリカ〕 野菜研究 ① 協定期間(延長) ② 予算費用 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年次) 国民食生活の改善、食品産業振興政策による雇用機会確保のため、小規模経営による野菜栽培を推進施設の整備により推進する目的で、スーニエス農産試験場にて、パイロットファームを設置し、産地施設の整理、野菜栽培の研究について指導訓練に協力する。53年度は、事前調査チーム及び長期調査員を派遣する。	調査団派遣															事前調査 専門家派遣状況(短・長期)	
	専門家派遣 長期 短期																継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数(A)+(B)-(C)
	長期調査員 2名 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()																人数 0 0 0 0
	研修員受入 高級(準高級) 一般																

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間													分野等												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
〔タイ〕 水管理・かんがい農業開発 ① 協定期間(延長) 52.4~57.4 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次) タイ国の米生産の増大及び二期作地域の拡大に貢献することを目標にチャオピア及びメクロン地区において圃場整備の促進、農業生産技術の改良及び普及並びに農民組織の育成強化への協力。53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 11 短期 2 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(153,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 2名									←--→							巡回指導(マレーシア水管理と同時) (センター) リーダー・かんがい排水・農業経営・調整 (チャオピア) かんがい排水・圃場整備 (チャオピア) 1名 1名 1名 1名 1名 派遣 1名 農業機械 1名 (メクロン)かんがい排水・圃場整備各 1名 (スバンプリ) 派遣 1名 建設機械 2名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在任用者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> ① (現地水資源開発) ② (かんがい排水) 合計 4名 視察 2名 (農業普及 1名, 水管理 1名)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)	人数	6	1	0	7
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)																							
人数	6	1	0	7																							
〔インドネシア〕 家畜衛生 ① 協定期間(延長) 52.7.7~55.7.6 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次) スマトラ島・メダン及びランポンに無償協力による家畜衛生センターを設立し、北・南スマトラ地区の地域疾病の調査、診断、これらに関する試験研究、技術者の訓練、ワクチンの試作等についての協力。53年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 6 短期 1 機材(千円) 当初計画 繰越分(3,347) 新規分(68,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般									←--→							巡回指導 寄生虫学 1名、微生物学 1名、疫学 1名 リーダー(微生物) 1名、微生物(疫病) 1名、疫学血清学 1名 病理 1名 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在任用者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> 高級 2名 1名 合計 3名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)	人数	3	0	0	3
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数(A)+(B)-(C)																							
人数	3	0	0	3																							

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔インドネシア〕 浅海養殖 ① 協定期間(延長) R/D 52.10~53.3.31 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 機材(4円) 当初計画 ④ 協力概要(第1年度) ジャカルタ近郊のバンテンにおいて、魚貝 繁殖施設を設立する。 今年度は8月R/D取組の予定で10月から 協力を開始する予定である。	調査団派遣 専門家派遣 長期 5 短期 2 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般					---									計画打合せ 巡回指導 魚貝繁殖 5名 (魚 1名, 養殖 1名) 専門家派遣状況(短・長期)		
																継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現任者数 (A)+(B)-(C)	
																	人数 0 0 0 0
〔インドネシア〕 山岳林収穫技術 ① 協定期間(延長) 52.10~52.3 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 機材(4円) 当初計画 ④ 協力概要(第2年度) ジャワ島中部の山岳林の回復に資するため 伐木技術者の育成、訓練に協力を。53 年度は、実施設計、計画打合せのチームの派 遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパー ト受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 2名 短期 1名 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分(10,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 4名														実施設計 4-ムリダー 代木集材、葉勝調査、代木集材、架設集材、トラクター集材 専門家派遣状況(短・長期)		
																継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現任者数 (A)+(B)-(C)	
																	人数 0 3 0 3

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
〔インドネシア〕 養蚕開発 ① 協定期間(延長) 51.3~52.9(1/6) 52.9~53.9 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第3年次) 養蚕センター及びナブセンターを設置し、 標準的養蚕技術の確立並びに技術者の指導・ 訓練に協力する。53年度は、巡回指導の派 遣・専門家派遣・機材供与、カウンターパー ト受入れを行う。	調査団派遣						←	→							巡回指導 2名 リーダー(巡回リーダー会) 2名 蚕飼育・裁糸 2名、蚕飼育 1名、蚕座製造 1名、病害虫防除 1名、 調整 1名 冷凍保存 27112名、除水産級 3名、エグジビション 1名				
	専門家派遣 長期 短期						←	→							専門家派遣状況(短・長期)				
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(58,000)						△							*		継続(A) 新規(B) 帰国(C)			現在在任者数 (A)+(B)-(C)
	研修員受入 高級(準高級) 一般							←	→							人数	3	2	0
		1名 2名												合計 3名					
〔スリランカ〕 高等水産講習所 ① 協定期間(延長) 54.4.16~53.4.15 (53.4.16~55.4.15)延長 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 漁業者 ④ 協力概要(第4年次) 本講習所は、沖合、遠洋漁業を目的とした 短期大学程度の講習所であり、漁業科、機材 科から成る。53年度は、計画打合せも派遣 専門家派遣、機材供与、カウンターパート受 入れを行う。	調査団派遣														計画打合せ				
	専門家派遣 10名 長期 7名 短期 3															首席顧問、機関、船運、運用 業務調整、漁船長、機関、漁具 冷蔵、冷凍、漁船			
	機材(千円) 当初計画 22,584 繰越分(13,584) 新規分(20,000)						△		*							専門家派遣状況(短・長期)			現在在任者数 (A)+(B)-(C)
	研修員受入 高級(準高級) 2 一般 5名															人数	3	4	0

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
[ペルー] ペルー水産加工センター ① 協定期間(延長) 54.10.13~55.10.12 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 漁業者 ④ 協力概要(第3年次) ペルー国の食品漁業開発政策に基づき、水産物加工技術の研究開発及び改善を行う。53年度は、専門家を、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 20名 長期 14名 短期 2名 機材(千円) 当初計画 繰越分(64,000) 新規分(20,000) 研修員受入 一級 2名														首席顧問、缶詰、練製品、化学分析、微生物、冷凍機械(6名) 冷凍、冷蔵機械、水産加工、養殖関係 冷蔵設備付、電気 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>10</td><td>1</td><td>0</td><td>11</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	10	1	0	11
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	10	1	0	11																					
																6ヵ月間									
[チュニジア] チュニジア国立漁業センター ① 協定期間(延長) 53.7.1~56.6.30(5/6) ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第3年次) チュニジア水産高等学校漁業科その他の教員の再教育訓練と漁業開発及び現在行われている沿岸漁業の改善増進を主たる目的とする。53年度は、専門家を派遣を行う。	調査団派遣 専門家派遣 7名 長期 5 短期 2 機材(千円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(40,000) 研修員受入 高級(準高級) 2 一般 0														首席顧問、缶詰漁業、トロール漁業、水産加工、養殖関係 漁業技術、沿岸漁業 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	0	0	0	0																					

(注) ● 現地協定 △ 協定済 ○ 現地協定 × 現地協定済

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
[ペルー] 生鮮食品流通改善 ① 協定期間(延長) ② 予算項目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第1年次) 生産と流通を円滑に結びシステムを確立するため生産物を果出荷する態勢の育成を図り、集出荷の近代化卸売市場の設立等の整備を行うことにより流通の改善を図る協力。53年度は事前調査を行ない生産流通事情の調査を行う予定	調査員派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般															事前調査 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	0	0	0																						
[タイ] タイとラオス産業開発 ① 協定期間(延長) ② 予算項目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第2年次) 栽培に用いる応用試験、種子生産調整、機械化訓練、技術管理研修等の業務を担い農協育成強化を行い、タイとラオスの生産性向上を目指す協力。53年度は、巡回指導チーム派遣及び機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 5名 短期 4名 機材(千円) 当初計画 28,922 繰越分(4,905) 新規分(74,017) 研修員受入 高級(準高級) 3名 一般 3名															巡回指導 (リーダー、栽培、農業機械、農協組織、種子) (プラント提供) 専門家派遣状況(短・長期) 9月30日 <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td> </tr> </table> (農業機械) (種子2名)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	2	4	2	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	2	4	2	4																						

(54)

△ 実施協議 △ 調査請求 ○ 賠償 × 現地滞留

8. 鉱工業開発協力事業

工管課(室) 鉱工業開発技術課

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(インドネシア) 建材開発 ①協定期間 R/D 未署名 ②予算項目 産業開発協力費 ③相手国受入機関 公共事業及び建設研究所(DBR) 工業省工業研究所(CRI) ④協力概要 地場資源を利用した建材開発に関する技術 移転を目的とした協力。 53年度は、実施協議及び長期調査員の派遣、 カウンタート受入れを行なう。	調査団派遣				---										7名×17日(実施協議) 2名×1月(ハイレブ・セメントボードに用いる パイロットプラント設計及び施工調査) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在滞在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在滞在者数 (A)+(B)-(C)	人数	-	-	-	-
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在滞在者数 (A)+(B)-(C)																				
	人数	-	-	-	-																				
	専門家派遣															PCB ALA (1名×1月(人工軽量骨材関係視察)) (1名×1月(ハイレブ・セメントボード関係視察))									
長期																									
短期 2名																									
機材(千円)																									
当初計画																									
繰越分()																									
新規分()																									
研修員受入 (高・高級)																									
1級 2名																									
(ネパール) 中小工業振興 ①協定期間 R/D 未署名 ②予算項目 産業開発協力費 ③相手国受入機関 工業指導センター(IISC) ④協力概要(第1次) セメント及びレンガ製造分野において、 製造、経営、流通等の生産関連技術の指導、 組織、制度面の整備等技術移転を目的とした調査 育成に資する協力。53年度は、事前調査団 派遣を実施する。	調査団派遣								---						5名×35日(事前調査) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在滞在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在滞在者数 (A)+(B)-(C)	人数	-	-	-	-
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在滞在者数 (A)+(B)-(C)																				
	人数	-	-	-	-																				
	専門家派遣																								
長期																									
短期																									
機材(千円)																									
当初計画																									
繰越分()																									
新規分()																									
研修員受入 高 級(準高級)																									
1級																									

(85)

・実施協議

△講義請求

○和夜

×現地赴任

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等						
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
(フイリボン) パーティクル・ボード開発技術 ① 協定期間 52. 3. 18 ~ 55. 6. 30 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 材産物開発研究所(FORPR/DECOM) ④ 協力概要(第3年次) 地場資源の再生利用を図り、建材、器具材 向けのパーティクルボード工業化を目的とし た技術協力 53年度は、専門家を、カウンターパー ト受入れ機材供与を行なう	調査員派遣 専門家派遣 長期 1名 長期研修員 1名 短期 4名 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(63,000) 研修員受入 (準高級) 1名 一般 5名																			2名×3月(生産技術) 1名×6月(品質管理) 1名×5月(試験分析) 2名×2月(機材供与) 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現任者数 (A)+(B)-(C) 人数 / - - / 1名×1月(視察) 5名×5月(パーティクルボード生産技術)
(タイ) 天然ゴム品質改善 ① 協定期間(延長) 52. 4. 1 ~ 55. 3. 31 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 農業組合省ゴム研究所(RRC) ④ 協力概要(第2年次) 天然ゴム品質管理の促進・現場指導、人材 の養成等3機能を付与し、タイ国ゴム研究所 の指導体制を確立することにより天然ゴム産 業の振興に資する協力53年度は専門家を派遣 カウンターパート受入れを行なう。	調査員派遣 専門家派遣 長期 2名 短期 4名 機材(千円) 当初計画 繰越分(4,500) 新規分(22,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 6名																			2名×12月(品質管理) 2名×1月(機材供与) 2名×1月() 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現任者数 (A)+(B)-(C) 人数 3 / 2 2 1名×12月(応用化学) 4名×4月(品質管理) 1名×2月(電気)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
〔タンザニア〕 中小工業育成 ① 協定期間 R/D 未署名 ② 予算項目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 タンザニア州政府(RDD) ④ 協力概要 キリマンジャロ州の中小工業を振興するた めに技術導入、改良、普及、人材の養成とま う機能を持つ工業開発センターを設立、周里 プロジェクトとして指導所、展示場を設けさ る。	調査員派遣					---								3名×14日(計画打合せ) 4名×1月(窯業、金属加工、豆炭、用窯火煙計画) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在任用者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)	人数	-	-	-	-
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)																			
	人数	-	-	-	-																			
	専門家派遣 長期 3名 短期 4名														2名×1月(視察)									
費 材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()																								
研修員受入 高級(準高級) 一般 2名																								
〔ポリネシア〕 亜鉛鉱物等回収内務技術協力 ① 協定期間 52.2.21~53.2.21 ② 予算項目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 ポリネシア鉱山公社(COMIBOL) ④ 協力概要(第3年次) ポリネシア共和国政府鉱山公社所有のコル キリ、ホリバーレ、2鉱山に対し複雑な鉱 石から銅、亜鉛、銀等の有用鉱物を有効回収 する為の技術協力、53年度は専門家派遣、 カウンターパートの受け入れ、浮遊選鉱機材 等の機械供与を行なう。	調査員派遣												4名×16日(巡回指導) 2名×3月(選鉱) 1名×11月(選鉱) 2名×6月(機械・電気) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在任用者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)	人数	1	-	-	1	
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在任用者数 (A)+(B)-(C)																			
	人数	1	-	-	1																			
	専門家派遣 長期 3名 短期 2名														2名×3月(選鉱技術)									
費 材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(60,288)			△																					
研修員受入 高級(準高級) 一般 2名			△		○																			

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	53年度介働力期間												分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(ブラジル) 鉱物資源開発 ① 協定期間 R/D 52.7.21~53.7.20 ② 予算項目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 鉱山動力岩鉱産局(DNPM) ④ 協力概要(第2年次) 国産非鉄金属鉱業開発計画を策定し国内自給を目指す為、既存データの解析、開発の経済性の検討、鉱山開発計画立案等の分野での協力。53年度は専門家派遣、長期調査員派遣、カウンターパートの受入れを行なう。	調査員派遣 専門家派遣 長期 8名 短期 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 2名														3名×12月(地質、地化探及矿物探) 3名×7月(採鉱、鉱害防止及び鉱物処理研究開発) 2名×4月(選鉱及び地質) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在及任用数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>3</td><td>-</td><td>-</td><td>3</td> </tr> </table> 2名×21日(視察) 2名×6月(採鉱、鉱害防止)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在及任用数(A)+(B)-(C)	人数	3	-	-	3
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在及任用数(A)+(B)-(C)																			
人数	3	-	-	3																					
(チリ) 銅製錬開発 ① 協定期間 R/D 51.11.29~54.11.28 ② 予算項目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 中央鉱山冶金研究所(CIMM) ④ 協力概要(第3年次) 411共和国中央鉱山冶金研究所に対し、銅製錬技術の研究開発、現場指導、および人材養成、電子機能の付与し、同研究所の411銅産業に対する指導体制を確立することによってチリ銅産業の発展に資する技術協力。53年度は、巡回指導、カウンターパート受入れを行なう。	調査員派遣 専門家派遣 長期 1名 短期 8名 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分(5,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 3名														4名×25日(巡回指導) 1名×7日(溶錬) 2名×1月(分析、溶錬) 1名×0.5月(品質管理) 3名×3.5月(4-7.分析、製錬) 2名×1.5月(品質管理) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在及任用数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td><td>0</td> </tr> </table> 3名×3月(溶錬、電線、分析)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在及任用数(A)+(B)-(C)	人数	4	0	4	0
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在及任用数(A)+(B)-(C)																			
人数	4	0	4	0																					

(82)

△現地研修

△現地研修

○派遣

×現地指導

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
〔メキシコ〕 選鉱・製錬技術育成 ①協定期間(延長) R/D未署名 ②予算費目 産業開発協力費 ③相手国受入機関 国有財産産業振興省鉱業振興局(CFM) ④協力概要 メキシコ国有財産省の試験研究機関設立構 想を支援し、選鉱・製錬等の分野において技術 の導入と改良及び普及・人材の育成を通じて 高成長・振興に寄与することを目的とした協力。 53年度は事前調査団派遣を行う。	調査団派遣													5名×35日(事前調査)
	専門家派遣 長期 短期													
	機材(千円) 当初計画													継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C)
	繰越分() 新規分()													人数 - - - -
	研修員受入 高級(洋高級) 一般													
〔ペルー〕 鉱山保安技術育成 ①協定期間 R/D 52.10.28~53.12.31 ②予算費目 産業開発協力費 ③相手国受入機関 動力鉱山省、鉱業科学技術研究所 IN(ITEM) ④協力概要(第2年次) 基礎保安技術の移転、鉱山保安技術をヒル トインした生産技術の指導等の技術協力、53 年度は専門家派遣、カウンターパートの受入 れを行う。	調査団派遣													2名×12月(地質、採鉱) 1名×11月(鉱山保安) 2名×1月(以前)
	専門家派遣 長期 3名 短期 2名													
	機材(千円) 当初計画													継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C)
	繰越分() 新規分(4,940)													人数 2 1 - 3
	研修員受入 高級(洋高級)1名 一般 2名													1名×1月(視察) 1名×3月(保安体制) 1名×5月(保安技術)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	SS 年度分 協力期間												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
(マレーシア) 電気メッキセンター ① 協定期間 R/D 未定 ② 予算項目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 科学技術環境省標準工業研究所(SIRIM) ④ 協力概要 本センターは、部品工業のうち基本分野と いえる電気メッキ、プレス、溶接の3業種 について、技術能力及び経営能力の向上と近 代化に必要と判断する旨の旨成を目的とする。SS 年度は実施協議チームを派遣し、具体的協力 内容を、専門家派遣、技術協力カンファレンス等を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 5名 短期 4名 機材(千円) 当初計画 繰越金() 新規分(35,000) 研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 2名													6名×18(実施協議) 1名×7月(メッキ) 2名×5月(4-7, 溶接) 4名×1月(4-7, 塗装, 溶接) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>—</td> </tr> </table> 2名×14日(視察) 2名×3月(プレス, 金型)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	—	4	4	—
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																		
人数	—	4	4	—																				
														4名×17日(巡回指導) 5名×12月(4-7, 原料精製, 物理試験, 生産技術, 調査) 1名×9月(応用試作) 2名×1月 } 機材提供 3名×0.5月 } 4名×1月 } 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </table> 2名×1月(視察) 5名×7月(分析2名, 生産技術2名, 管理1名)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	7	4	5	6
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	7	4	5	6																				
[フィリピン] フィリピン産業研究開発センター ① 協定期間(延長) SY. 7. 16 ~ SS. 7. 15 ② 予算項目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 国立科学技術研究所(NIST) ④ 協力概要(第3年次) 産業技術の移転と適応の人材の養成と現場実 業の振興について技術協力を進め、SS年度 は、専門家派遣、機材提供、巡回指導チーム を派遣、カウンターパート受入等を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 6名 短期 9名 機材(千円) 当初計画 翌債4900 繰越金(1,300) 新規分(55,000) 研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 5名													4名×17日(巡回指導) 5名×12月(4-7, 原料精製, 物理試験, 生産技術, 調査) 1名×9月(応用試作) 2名×1月 } 機材提供 3名×0.5月 } 4名×1月 } 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </table> 2名×1月(視察) 5名×7月(分析2名, 生産技術2名, 管理1名)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	7	4	5	6
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	7	4	5	6																				

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	S3年度分協力期間												分野等												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
(イ ラ フ) イラク電気産業訓練センター ① 協定期間 50.9.7 ~ 53.9.6 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 工業省工業開発局(SOID) ④ 協力概要(第4年次) イラク国における(1)エレベーター、(2) 冷庫・空調機器、(3)一般電子機器の各コース での訓練によって電気産業の特定分野に於ける 人材養成を図る。S3年度は、専門家派遣 ・教材提供、エバチーム派遣、カウンタパート 受入れを行う。	調査員派遣 専門家派遣 長期 3名 短期 7名 教材(4円) ・当初計画 費債38,940 ・繰越分(3,560) ・新規分(20,000) 研修員受入 高級(準高級) 一般 9名														3名 × 14日(計画打合せ) 5名 × 25日(エバリエーション) 1名 × 4月(冷庫・空調) 2名 × 7月(4-7, エレベーター) 1名 × 4月(一般電子) 6名 × 2月(機材提供) 専門家派遣状況(短・長期)											
																<table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在々在者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数 (A)+(B)-(C)	人数	-	-	-	-
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数 (A)+(B)-(C)																					
	人数	-	-	-	-																					
															3名 × 7日(空調・冷庫) 6名 × 12日(一般電子)											

9. 青年海外協力隊事業

青年海外協力隊・昭和53年度第1四半期事業実施状況及第2-4四半期予定表

区分	月別	実績			予定									備考		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1. 募集・広報		53/Ⅱ次隊 春募集(4/15~5/1)								54/Ⅰ次隊 秋募集(10/15~1/10)						
2. 選考 (地方選考) (第2次選考)					筆記試験 (7/16)	面接試験 8/14~8/19					筆記試験 (1/14)	面接試験 2/11~2/16			52年4月分試験	
3. 訓練 (派遣前)		53/Ⅰ前期組 広尾(4/1~5/13)8名		代々木(6/1~7/28)8名				53/Ⅰ前期組 広尾(10/14~11/30)		代々木(12/1~1/27)						
		53/Ⅰ後期組 広尾(4/1~7/30)8名		代々木(8/1~9/30)8名				53/Ⅰ後期組 広尾(12/1~1/27)		代々木(2/1~3/24)						
4. 派遣 (現地研修隊) (海外協力活動)		52/Ⅰ後期組 (4/7~5/18) (任期2年)			53/Ⅰ前期組 8/10~8/30 (任期2年)			53/Ⅰ後期組 (10/10~10/30) (任期2年)			53/Ⅰ前期組 (2/10~2/22) (任期2年)				派遣 4月上旬	
5. 隊員プロジェクト調査 (派遣前調査) (実施調査) (巡回指導)							通年事業									
6. 地方対策 (事業強化)							通年事業									
7. 帰国隊員対策 (帰国) (その他)		52/Ⅰ後期組			53/Ⅰ前期組			53/Ⅰ後期組			53/Ⅰ前期組					
その他		①隊員実行会 ②協力隊運営委員会 ③新規派遣員	5/8 4/11 ポリゴニア派遣		7/28, 9/30, 1/27, 3/24 7/20, 9月, 11月, 1月, 3月の中旬											

昭和53年度隊員派遣実績及び予定表(青年海外協力隊)

(単位:人)

派遣国	四半期別 年間計画数	実 績			予 定			(C) 6月末までの 当年度帰国者数	6月末現在の在 留者数 (A)+(B)-(C)	備 考
		(A)前年度からの 継続者	(B)6月末までの 当年度派遣者数	小 計(A+B)	第2四半期 派遣予定数	第3四半期 派遣予定数	第4四半期 派遣予定数			
(アジア)										
1. ラ オ ス	6	1	0	1	0	0	0	1	0	計上数は、隊員(U NV等)及びシニア グループ(シニア 隊員調整員)である。 イラン、北イエメン 南イエメン、レト ネパール(1名だ け)はUNLVである。
2. フ イ リ ピ ン	92	65	4	69	12	10	11	6	63	
3. マ レ イ シ ア	80	58	4	62	12	8	3	3	59	
4. イ ン ド	6	2	0	2	0	0	0	0	2	
5. ネ パ ール	68	46	5	51	5	2	10	10	41	
6. バングラデシュ	62	43	4	47	5	7	3	9	38	
(オセアニア)										
1. 西 サ モ ア	25	18	0	18	0	0	7	2	16	
2. ト ン ガ	9	4	0	4	0	0	5	0	4	
(中近東)										
1. モ ロ ッ コ	38	20	3	23	1	4	9	3	20	
2. テ ユ ニ ジ ア	53	32	1	33	3	3	4	0	33	
3. シ リ ア	43	16	9	25	4	0	9	1	24	
4. イ ラ ン	2	0	0	0	0	0	2	0	0	
5. 北 イ エ メ ン	2	1	1	2	0	0	0	0	2	
6. 南 イ エ メ ン	2	1	0	1	0	0	1	0	1	

(単位:人)

派遣国	四半期別 年間計画数	実績			予定			(C) 6月末までの 当年度帰国 者累計	6月末現在 在任者数 (A)+(B)-(C)	備考
		(A)前年度からの 継続者	(B)6月末までの 当年度派遣者	小計(A+B)	第2四半期 派遣予定数	第3四半期 派遣予定数	第4四半期 派遣予定数			
(アフリカ)										
1. ケニア	77	52	10	62	6	11	8	10	52	
2. タンザニア	49	26	7	33	2	2	12	2	31	
3. マラウイ	95	67	11	78	9	15	8	8	70	
4. ザンビア	68	38	5	43	5	6	4	6	37	
5. エチオピア	24	0	0	0	0	0	0	0	0	
6. ガーナ	34	12	3	15	10	5	4	0	15	
7. レソト	4	2	0	2	0	0	2	0	2	
(中東米)										
1. エリトリア	24	12	1	13	3	1	7	1	12	
2. コスタリカ	23	11	0	11	0	2	10	0	11	
3. ホンジュラス	17	8	3	11	3	8	0	0	11	
4. パラグアイ	19	3	2	5	0	3	3	0	5	
5. ボリビア	5	0	3	3	5	0	0	0	3	
計	916	538	76	614	85	87	123	62	552	

10. 人材養成確保事業

事業名	計画と概要	53年												54年			備考		
		振務の内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
人材養成確保事業	(1) 語学研修 個々の受講者の希望に応じ語学研修を行う。	4月～3月																	
	(2) 技術研修 専門ががての職務を遂行するに当たり、必要とされる技術の研究、調査研究、情報の収集等を行う。	4月～3月																	
	(3) 事前研修 すでに派遣先が決定した専門家に対し、派遣前/カ月間、語学、任国事情等の研修を行う。 (年間 9回 1回26日間、25名程度)	1回～9回	1/18	2/12	3/10	4/10	5/10	6/10	7/10	8/10	9/10	10/10	11/10	12/10	1/10	2/10	3/10		
	(4) ① 中期研修(国内研修) 海外に派遣される可能性のある人達を対象に専門的技術知識、語学等について研修を行う。	第1回 58名																	
	社会開発コース 14名 農業一般コース 9名 技術職業土木コース 15名 プロジェクトリーダー 10名			5/2	9/3														
	年間2回 { 1回 74日間 58名 2回 76日間 55名 計 113名																		
	第2回 55名 社会開発コース 15名 農業コース 15名 鉱工業コース 25名									9/18				17/2					

事業名	計画と概要	53年												備考	
		業務の内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3
㊦ 中期研修 (海外研修) 以前前専門家中期研修の一環として国内研修終了者に対し、開発途上地域等において我が国で研修できない分野の技術者について現地研修を行う。 研修場所： 開発途上地域等における教育機関研究者等の施設及び奨励協力プロジェクト 研修期間： 1カ月以内 研修人員： 計26名	社会開発部門 (社会開発コース) 9名 農林業部門 (農業一般コース) 媒体プロジェクト リーダーコース } 9名 林業コース } 鉱工業部門 (鉱工業コース) 8名							9/20	10/3			1/5	2/4		
	農林業部門 (鉱工業コース) 8名							9/20	10/3				7/6	7/12	
	(鉱工業コース) 8名												2/14	3/7	
㊧ 国内長期技術研修 帰国専門家等、再派遣予定者に対し、専門技術能力の開発及び向上を図るための研修を行う。 研修期間： 3カ月以上/年以内 研修人員： 8名	農林業部門 農林業部門			6/1				9/30							太陽コンサルタント(株)
㊨ 海外長期研修 専門的、技術的富積の乏しい分野における専門家の養成、確保を図る(実務的かつ指導的な専門家となるために海外の研究機関等に派遣して必要な技術者を研修させる。)	社会開発部門 (5名) 農林業部門 (5名) オーストラリア (53.6.1 ~ 55.7.1) 鉱工業部門 (5名) アメリカ (53.6.7 ~ 55.6.5) アメリカ (53.7.1 ~ 55.6.30) 英国 (53.7.13 ~ 55.7.12)														コロラド大学 (開発経済学) イェール大学 ハーバード大学 (開発行政学) ウェネルズ大学 (地域開発学)

事業名	計画と概要	53年												備考	
		業務の内容	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3
	(2) 特別嘱託 帰国専門家、その他の若手再派遣を希望し、かつ、技術能力の優れた者をあらかじめ確保（プール）しておき、派遣要請に対応する。	4月～3月	←(年度 を通して 臨時) →												

11. 開発協力事業

主管課(室) 農林業技術課

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
〔マレーシア〕 サバ州カカオ農業開発協力 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年次) 混成栽培に属するサバ州に適する、ココアの生産開発とその加工等製造部門の開発によって経済の安定を図り生産から製造に至る技術協力。53年度は基礎調査と実施する。	調査団派遣					←→								基礎二次調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(B)-(C) 人数
	専門家派遣 長期 短期													
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()													
	研修員受入 高級(準高級)													
〔ホンデュラス〕 農林開発協力 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(第 年次) 国家5カ年計画の重点地域であるチヨルテ-カ川下流域でのミシシッピ栽培に関する協力。53年度は、開発計画、調査団の派遣する。	調査団派遣								←→					開発計画調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(B)-(C) 人数
	専門家派遣 長期 短期													
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()													
	研修員受入 高級(準高級) 一般													

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間													分野等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
〔エクアドル〕 ① 協定期間(延長) 農業開発協力 ② 予算科目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(毎年度) エクアドル国の提示するとうるうこし、大豆、ソルゴの三作物に限定して、これらの開発計画について、農業技術上の観点から調査し民間が行う農業開発協力の促進を図り、エクアドル国の未開発地区の農業開発に資する協力。53年度は基礎二次調査を行う。	調査員派遣								<-->							基礎二次調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数(A)+(B)-(C) 人数
	専門家派遣 長期 短期															
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()															
	研修員受入 高級(準高級) 一般															
〔アルゼンティン〕 大豆開発協力 ① 協定期間(延長) ② 予算科目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要(毎年度) パンパ中央地区600万haの内、120万haを対象に輸出作物として民間企業による生産開発事業を実施する。大豆輸入による地力向上、農家経営に資するとともに原料大豆としての輸出による外貨収入増加に資する協力。53年度は、基礎一次調査を実施する。	調査員派遣								<-->							基礎一次調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数(A)+(B)-(C) 人数
	専門家派遣 長期 短期															
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分()															
	研修員受入 高級(準高級) 一般															

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
〔ブラジル〕 アマゾン森林造成現地実証調査 ①協定期間(延長) ②予算項目 開発協力費 ③相手国受入機関 エンベローパ ④協力概要(毎/年次) アマゾン地域の森林の取り扱ひ及び更新等 に関する技術開発を行うためアマゾン地域に 約1,000haの試験造林地を設定し、その選 定試験及び試験分析を行ふ。 53年度は基礎二次調査及び計画打合せを行 う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般			(a) ←	→		(b) ←→										(a) 基礎二次調査, (b) 計画打合せ 5名(長期調査員) 3名(") 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現任者数 (A)+(B)-(C) 人数
〔グアテマラ〕 林業開発協力 ①協定期間(延長) ②予算項目 開発協力費 ③相手国受入機関 ④協力概要(毎/年次) グアテマラには54万ha余りの森林が存 在しているが植林密度は非常に多岐でありそ の利用価値についてはあまり知られていない。 これらのいわゆる木利用樹種の利用開発を行 うとともに森林の適切な更新を図る。また併 せて民間企業を通じた技術及び資金の協力に よりグアテマラ木材関連 産業の振興に寄与するとともに地域開発に資 する協力。53年度は基礎一次調査の実施を行なう。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般						←→									基礎一次調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現任者数 (A)+(B)-(C) 人数	

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
〔ウエトナム〕 ソンバイとうもろこし開発協力 ① 協定期間 (延長) ② 予算項目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要 (毎 年次) 同地区コホキが、草原におよぼれ残りは雑 樹地である。この中で約7,500 haの国営 農場を造成し、残りは民間を主とする、とう もろこし生産開発事業とする協力、53年度 は基礎一次調査を行なう。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般									←--→						基礎一次調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数 (A)+(B)-(C) 人数
〔インドネシア〕 南スマトラ森林環境開発協力 ① 協定期間 (延長) ② 予算項目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 ④ 協力概要 (毎 年次) 航空写真を用いた図化、解析、土壌調査及 び森林造成開発計画調査を行い約50,000 haのプランプラン草原の造林計画を決定す る。53年度は開発計画調査を行なう。	調査団派遣 専門家派遣 長期 短期 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級(準高級) 一般		←-----→													開発計画調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在任用者数 (A)+(B)-(C) 人数

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
【リベリア】 ウオロキラ鉄鉱山開発関連インフラ ① 協定期間 (延長) ② 予算項目 開発協力費 ③ 相手国受入機関 企画経済局 ④ 協力根拠 (第2年次) リベリア国北部ウオロキシ地区の鉄鉱山 の鉄鉱石開発を中心とする開発プロジェクト のインフラ施設整備計画で周辺地域の地域開 発への協力。53年度は、開発基礎計画を 派遣する。	調査団派遣			4/5 ← --- → 11/31 6名				1/1	← --- → 12/5 10名							開発基礎計画			
	専門家派遣															専門家派遣状況 (短・長期)			
	長期																		
	短期																		
	機材 (4円)																		
	当初計画																		
	繰越分 ()																		
	新規分 ()																		
	研修員受入																		
	高級 (専高級)																		
	一般																		

・実施回数 ◦ 派遣回数 ◦ 船積 × 現地滞在

12. 移住事業

(1) 移住相談件数

区分 地域	中 / 四半期件数				今四半期末累計				備 考
	新規相談	再相談	電話・手紙 相談	計	新規相談	再相談	電話・手紙 相談	計	
南 米	714	753	1467	2736	714	753	1467	2736	
北 米	703	211	865	1779	703	211	865	1779	
その他	560	158	967	1585	560	158	967	1585	
計	1977	1122	3301	4400	1977	1122	3301	4400	

(2) 移住者送出数

区分 移住先国	送出計画 (件数)	中 / 四半期送出数				今四半期末累計				備 考
		家 族		単 身	計	家 族		単 身	計	
		家族数	人数			家族数	人数			
ブラジル	562	9	28	28	57	9	28	28	57	
アルゼンチン	53	1	2	1	3	1	2	1	3	
パラグアイ	70	2	7	6	13	2	7	6	9	
ホリビア	15	2	6	0	6	2	6	0	6	
(小計)	(700)	14	44	35	79	14	44	35	79	
カナダ	450	1	2	2	4	1	2	2	4	送付通知書送付件数
イ - ストラリア	300	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	1400	15	46	37	83	15	46	37	83	

(5) 啓発活動実施件数 (才/四半期)

種類	対象	移住希望者	学生生徒	一級住民	関係者					計	今四半期末累計
					市町村	学校	職安	農協	その他		
説明会		4	2	15	1	0	4	0	3	29	29
座談会		0	0	0	0	4	0	0	4	8	8
講演会		2	11	3	1	6	0	1	3	27	27
映画会		6	7	7	0	1	0	0	0	21	21
展示会		0	0	28	0	0	0	0	0	28	28
説明会		50	0	52	0	0	2	0	0	110	110
研修(修)会		68	7	2	0	23	0	0	1	103	103
計		130	27	113	2	34	6	1	11	326	326

(6) 移住者子弟技術研修生受入数

国別	部門別 年度別	農業関係		工業関係		その他		計		備考
		1回生	2回生	1回生	2回生	1回生	2回生	1回生	2回生	
ブラジル		4	5	5	2	0	2	9	9	研修期間 1回生 53.4~53.9 2回生 53.4~54.9
アルゼンチン		2	1	0	0	0	0	2	1	
パラグアイ		3	2	0	0	0	1	3	3	
ボリビア		3	3	0	1	0	0	3	4	
ドミニカ		1	0	0	0	0	0	1	0	
計		13	11	5	3	0	3	13	17	

(5) 移住者訓練講習実施

実施月 訓練講習名	訓練講習 期間	計画実施 予定回教	実施実績及び計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(国内)														
農業移住研修生	1年	1	← 移住研修所 (25) →											
農家移住者短期講習	30日	10	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →
婦人移住者講習	60日	2	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →
工業移住者技能前訓練	25日	6	← (27) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →	← (中止) →
短期移住者前訓練講習	30日	2												
茶野訓練生技能前訓練	13日	2												
茶野訓練生結算講習	6ヶ月	2	← (10) 茶野高等農業訓練校 → 搬送所等取集訓練校											
カワガ移住者訓練講習	50日	5		← (7) →										
カナダ農業移住者訓練講習	50日	1												
オーストラリア移住者訓練講習	50日	5		← (中止) →										
(海外)														
毎年移住者訓練講習		6支部												
農業移住者面接研修	14日	5												
農業移住者 独立前補充研修	14日	4												
技術移住者面接研修	15日	6												
： 補充研修	8日	3												
： 特別研修	4日	5												
カナダ 農業移住者面接研修	45日	1												
ハワイ 農村青年研修会	30日	1												
先住地農業研修	14日	1												

()内数字は受講者数

(6) 調査実施実績及び計画

件名	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
カナダ移住者動態調査							←-----→	(オンタリオ州)						
農家経営調査					←-----→	(サンパウロ)	←-----→	(リオデジャネイロ)	←-----→	(パラナ)	←-----→	(ペロリウ)		
市場調査								←-----→	(サントパウロ)	←-----→	(サンパウロ)	(サンパウロ)	(サンパウロ)	ブラジル国内調査
雇用関係調査								←-----→	(ペロリウ)	←-----→	(サンパウロ)	(サンパウロ)		
移住地選地調査					←-----→	(サンパウロ)								
中小企業移住調査						←-----→	(サンパウロ)							業者委託
散在移住者実態調査									←-----→	(リオデジャネイロ)	(サンパウロ)	(サンパウロ)		
工業移住者実態調査						←-----→	(サンパウロ)							
アルゼンチン漁業調査								←-----→	(リオデジャネイロ)					
オーストラリア受入調査												←-----→	(シドニー)	

(7) 専門家派遣数

派遣先	数 派 遣 数		区 画		指 導 教 師		備 考
	新 規	継 続	新 規	継 続	新 規	継 続	
ブラジル		2		(1)			
アルゼンチン		1			1		
パラグアイ		2	(1)	1 + (2)	1		
ボリビア			(1)	1	1		
ドミニカ					1		
その他							
計	0	5	(2)	2 + (3)	4		

医師欄()内数字は現地採用医師

(1) 実施試験件数(第1四半期実施分)

試験区分 試験場名	畜産	養蚕	用椒	マラブジャ	カカオ	大豆	陸稻	棉	花卉	その他	備考
アマゾン熱帯農産試験			14	1	2					3	その他はマンシヨカ、ガラテ、 オイルパーム
パラグアイ農産試験(分場)	2	5				1				3	その他はスラビア2件、土壌保全1件
サンファン試験場						7				1	その他はちたお1件
アエバエスベランサ試験場	1							2		1	その他は緑肥1件
アシエンソン園芸センター											施設
計	3	5	14	1	2	8	1	2	0	8	

イ. 在伯農業専門家派遣・伯国内農業専門家を各支部に派遣し、営農普及指導にあたらせる。(派遣期間はノケド)

派遣地区	対象作物	計画及び実績
ブラジル・ペレーン	マクラジマ 養 鶏	養鶏、家畜衛生、カカオの3件を予定
レシ・フェ	パ ラ グアシオラス	花卉を予定
ポトアレグレ	カーネーション 米 樹	花卉、米の2件を予定
パラグアイ・アマゾン	牧 畜	農協一般、大豆、小麦、養鶏の4件を予定
ホリビア・リマソルス	綿 米 養 鶏	綿、養鶏、稲作、雑作の4件を予定

ウ. 農協育成

国名	計 画				実 績			
	貸金補助	事務費等補助	講習会費補助	計	貸金補助	事務費等補助	講習会費補助	計
ブラジル		2	3	5		2	3	5
アルゼンチン		1	2	3		1	2	3
パラグアイ	5			5	5			5
ホリビア	5			5	5			5
計	10	3	5	18	10	3	5	18

数字は、助成対象組合数

エ. 営農改善特別対策

内容 国名	計 画		実 績
	地区名	内 容	
ホリヒア	オキナワ移住地 特別対策	綿収穫機2台を購入、貸与	綿収穫機2台の購入につき、6月に予算示達した。

オ. 今四半期特記事項

- アマゾン熱帯農業総合試験場は、EMBRAPA主催の麻痺病害対策会議に特別招請され、試験研究発表を行い高い評価を受けた。

(1) 医療衛生対策

ア. 診療所運営

国 名	診療所名	人 員 配 置		診 療 件 数				
		医 師	看護婦	内 科	外 科	産婦人科	その他	計
ブラジル	オストマス	1	3					
パラグアイ	アルトパラナ	2	5					
	フ ラ ム	1	4					
	イ グ ア ス	1	3					
ホリヒア	サンファン	1	5					
	オキナワ中央	1	4					
	オキナワサノ	0	2					
	計	7	26					

診療件数は報告未着

診療件数欄()内は、四半期未累計

イ. 特約医配置 : 産科診療所のない地区においてそれに代る
 現地医療機関に対し謝金を出す。

国名	計画	実績
ブラジル	20 件	20 件
アルゼンチン	3	3
パラグアイ	4	4
ボリビア	2	2
ドミニカ	1	1
計	30	30

ウ. 巡回診療

国名	地区名	計画	実績
ブラジル	ベレン	17 回	
	レニョフェ	10	
	リオデジャネイロ	4	
	サンパウロ	2	
	ホルトアレグレ	9	
パラグアイ	アスンシオン	2	
	計	50	

エ. 医師、看護婦育成 (有英資金支給)

国名	医師		看護婦	
	計画	実績	計画	実績
ブラジル	5		1	1
パラグアイ	6		3	3
ボリビア	6		4	4
計	17		8	8

オ. 今四半期特記事項

(11) 教育対策

ア. 育英助成 (奨学金支給)

助成内容 国名	小学生		中学生			高校生			大学生
	交通費	寄宿舎	月謝	交通費	寄宿舎	月謝	交通費	寄宿舎	
ブラジル	(6)	(0)	(380)	(190)	(100)	(95)	(55)	(22)	(22)
アルゼンチン			(15)		(30)	(10)		(40)	(24)
パラグアイ			(20)	(20)	(40)	(15)	(5)	(20)	(15)
ホリビア			(80)		(20)	(40)		(20)	(15)
ドミニカ			(15)		(15)	(10)		(10)	(4)
メキシコ									(2)
ペルー									(2)
計	(6)	(4)	(510)	(210)	(205)	(170)	(60)	(132)	(150)

() 内計国数

イ. 社会教育助成

助成内容 国名	青年教育対象地区(人数)		婦人並級対象地区(人数)	
	計画	実績	計画	実績
ブラジル	13 (722)		2 (58)	
アルゼンチン	2 (10)			
パラグアイ	4 (900)		5 (224)	
ホリビア	2 (540)		4 (172)	
ドミニカ	1 (50)			
計	22 (2,272)		11 (454)	

ウ. 現地教師謝金

謝金区別 国名	日語教師		現地学校教師	
	計画	実績	計画	実績
ブラジル	35件	件	42件	42件
アルゼンチン	20		3	3
パラグアイ	30		11	11
ホリビア	10		40	40
ドミニカ	4			
カナダ	8			
計	157		96	96

エ. 今、四半期特記事項

(12) 生活環境整備対策

ア. 生活改善普及指導関係

国名	巡回指導 地区	指導謝金 件	自治体育成 件
ブラジル		0	10
アルゼンチン		2	1
パラグアイ		45	0
ボリビア		12	2
ドミニカ			1
計		62	25

イ. 今、四半期特記事項

(13) 電化・道路対策

国名	移住地電化		道路対策	
	計画	実績	計画	実績
ブラジル	バルセアアルグレ移住地 ベラヒスタ移住地		オシマクス道路橋次工事5ヶ年 計画2ヶ年次 フレトザド-2. シマロロ-2名/台購入	フレト-ロ-2. 日本にて購入準備中
ボリビア			カンファン移住地道路整備5ヶ年 計画の1ヶ年次	盛土. シマロロ工事進行中
パラグアイ			フラス. ナヤバス道路改修5ヶ年 計画の1ヶ年次	5月現在 盛土工事7.2km完了

(14) 入植区画（ロット）造成及び分譲

国名	移住地名	入植区画（ロット）造成数					入植区画（ロット）分譲数						
		年間計画		当期実績		当期末 累計	年間計画		当期実績		当期末 累計		
		農耕地	市街地	農耕地	市街地		計	農耕地	市街地	農耕地		市街地	計
ブラジル	サントアヌ	35		0		0	0	70		0		0	0
	ポルセア	5		0		0	0	29		0		0	0
	グアタバラ		20		0	0	0		20		0	0	0
	アウリベルテ							10		5		5	5
アルゼンチン	ガルンペー							6		1		1	1
	アンタナス							11		0		0	0
	ラ・プラタ							5		0		0	0
パラグアイ	イグアズ	29	26	0	0	0	0	56	50	0	0	0	0
	アルトパラナ	70	33	0	0	0	0	157	45	1	0	5	5
	アラム								15		0	0	0
	計	139	79	0	0	0	0	326	130	5	7	12	12

(注) 造成数、分譲数は5月末現在

(15) 移住融資実績

(単位：千円)

国名	融 資 貸 付 額						融 資 買 収 額					
	年間 計画	当期実績				当期末 累計	年間 計画	当期実績				当期末 累計
		農業貸付	工業貸付	民生資金貸付	計			農業貸付	工業貸付	民生資金貸付	計	
ブラジル	931,500	22,021	2,936	0	90,957	90,957	375,740	25,777	227	151	26,155	26,155
アルゼンチン	75,200	10,412	0	0	10,412	10,412	22,170	1,475	0	0	1,475	1,475
パラグアイ	452,500	0	0	0	0	0	236,400	6,860	0	76	7,036	7,036
ポリーニア	270,600	4,405	0	0	4,405	4,405	192,720	32,045	0	121	32,226	32,226
ドミニカ	60,200	0	0	0	0	0	33,408	1,502	0	0	1,502	1,502
計	1,300,000	102,838	2,936	0	105,774	105,774	860,438	67,459	227	508	68,194	68,194

(注) 5月末現在

(115)

13. 無償資金協力事業

主管課(室) 無償資金協力課

[国名] プロジェクト名等	協力内容	50 年度分協力期間												分野等				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
[韓国] 地域社会総合医学センター ① 協定期間 1977年9月27日 1978年9月30日 ② 予算科目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 地域社会総合医学センター ④ 協力概要 地域社会医学センター用 医療機材の供与	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 600000	52年度より継続																
[フィリピン] 全国水理研究センター ① 協定期間 1977年2月17日 1978年3月31日 ② 予算科目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 全国水理研究センター ④ 協力概要 全国水理研究センターの施設の 建設	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 600000	52年度より継続																

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度全協力期間												分野
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
[インドネシア] 炭杏衛生センター ① 協定期間 1977年5月13日 1978年11月30日 ② 予算費目 外務省 経済開発協働助費 ③ 相手国参入機関 東ネ省畜産総局 ④ 協力概要 炭杏衛生センターの設立	施設建設等 無償資金協力費 (千円) 600,000	52年度より継続								0 完工予定	5/30 期限			
[フィリピン] 東北フィ職業訓練センター ① 協定期間 1977年8月16日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等協働助費 ③ 相手国参入機関 内務省労働局 ④ 協力概要 東北フィ技能開発センターの設立	施設建設等 無償資金協力費 (千円) 1,000,000	52年度より継続									0 完工予定	5/30 期限		

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
[イタリヤ] 生物医学研究センター ① 協定期間 1977年7月12日 1977年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 保健省医学研究所 ④ 協力概要 生物医学研究センター設立	施設建設等 無償資金協力額 (十円) 1,500,000	52年度より継続												E/N 期限 完了予定
[バンラデシユ] 食糧倉庫 ① 協定期間 1977年6月22日 1978年12月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 食糧省 ④ 協力概要 食糧倉庫の建設	施設建設等 無償資金協力額 (十円) 1,500,000	52年度より継続							0完了予定					E/N 期限

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力の期間												分 野 等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
[スリランカ] スリランカ大学附属教育病院 ① 協定期間 1977年5月12日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 保健省及び地方自治住宅建設省 ④ 協力概要(第1次) スリランカ大学のためのペララ ニア教育病院の設立	施設建設等 無償資金協力額 (+11) 1,100,000	52年	53年	54年										0 完了 予定	5/1 期 限
[パキスタン] 電気通信センター ① 協定期間 1977年7月30日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 通信省電信電話局 ④ 協力概要(第2次) イスラマバード中央電気通信 研究所の設立	施設建設等 無償資金協力額 (+17) 1,200,000	52年	53年	54年										0 完了 予定	5/1 期 限

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度協力期間												分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
[ツァガニスタン] 結核研究所、カブール地域センター等 ① 協定期間 1977年9月21日 1977年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 公共衛生省 ④ 協力概要 国立結核研究所及びカブール 地域結核センターの施設の建設	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 750,000	52年度より継続											0 完工予定	E/W 期限
[スーダン] 新作英農場 ① 協定期間 1977年2月24日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 農林省 ④ 協力期間 カサバ地区におけるパイロット 農場の設立	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 500,000	52年度より継続											0 完工予定	E/W 期限

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	55年度協力期間												分野等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
【カナ】 カナ大学基礎医学研究所 ① 協定期間 1977年7月15日 1978年10月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 カナ大学 ④ 協力概要 (第1次) カナ大学医学部基礎医学 研究所(野口記念研究所) の設立	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 1,000,000	52年度より継続															
【ケニア】 イタンガ地区水道建設 ① 協定期間 1977年10月21日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 水資源省 ④ 協力概要 イタンガ地区上水道建設	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 400,000	52年度より継続															

○→ E/W
 期
 限
 完
 工
 予
 定

○→ E/W
 期
 限
 完
 工
 予
 定

【画名】 プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
【ニシエール】 輸送力整備計画 ① 協定期間 1977年9月2日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 食 世 方 ④ 協力概要 輸送力の拡充	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 500,000	52年度より継続												〇 修理工場完工予定 E/V 期限
【パラプァイ】 職業訓練センター ① 協定期間 1977年10月26日 1979年3月31日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 文 部 省 ④ 協力概要 職業訓練センターの竣工	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 200,000	52年度より継続											〇 竣工予定 E/V 期限	

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												分野等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
[南イエーメン] 漁業訓練船 ① 協定期間 1977年9月6日 1978年9月30日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 漁業庁 ④ 協力概要 漁業訓練船の供与	施設建設等 無償資金協力額 (+PI) 450,000			○		○											
[コロンビア] 漁業訓練センター ① 協定期間 1977年11月7日 1978年6月30日 ② 予算費目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 国立水産訓練所 ④ 協力概要 漁業訓練センターの設立	施設建設等 無償資金協力額 (+PI) 500,000			○	×												

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間												介 時 等			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
[ホリヒア] 消化器疾患研究センター ① 協定期間 1977年10月1日 1979年3月31日 ② 予算科目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 社会保障保健省 ④ 協力概要 消化器疾患研究センターの 設立	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 700,000	52年	起	より	継続										→ 完了 予定	F/N 期限	
[インドネシア] 国营アンガラ通信施設 ① 協定期間 ② 予算科目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 国营アンガラ通信社 ④ 協力概要 国内電長通信網の拡充	施設建設等 無償資金協力額 (千円) 240,000	52年	度	より	継続											→ F/N 期限	

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	53年度分協力期間											分野等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3
[エフアドル] 漁業訓練船 ① 協定期間 1978年2月28日 1979年2月27日 ② 予算科目 外務省 経済開発等援助費 ③ 相手国受入機関 天然資源省 ④ 協力概要 漁業訓練船等の供与	施設建設等 無償資金協力額 (+円) 500,000	52年分より継続			起工						引渡予定	5/3期限		

